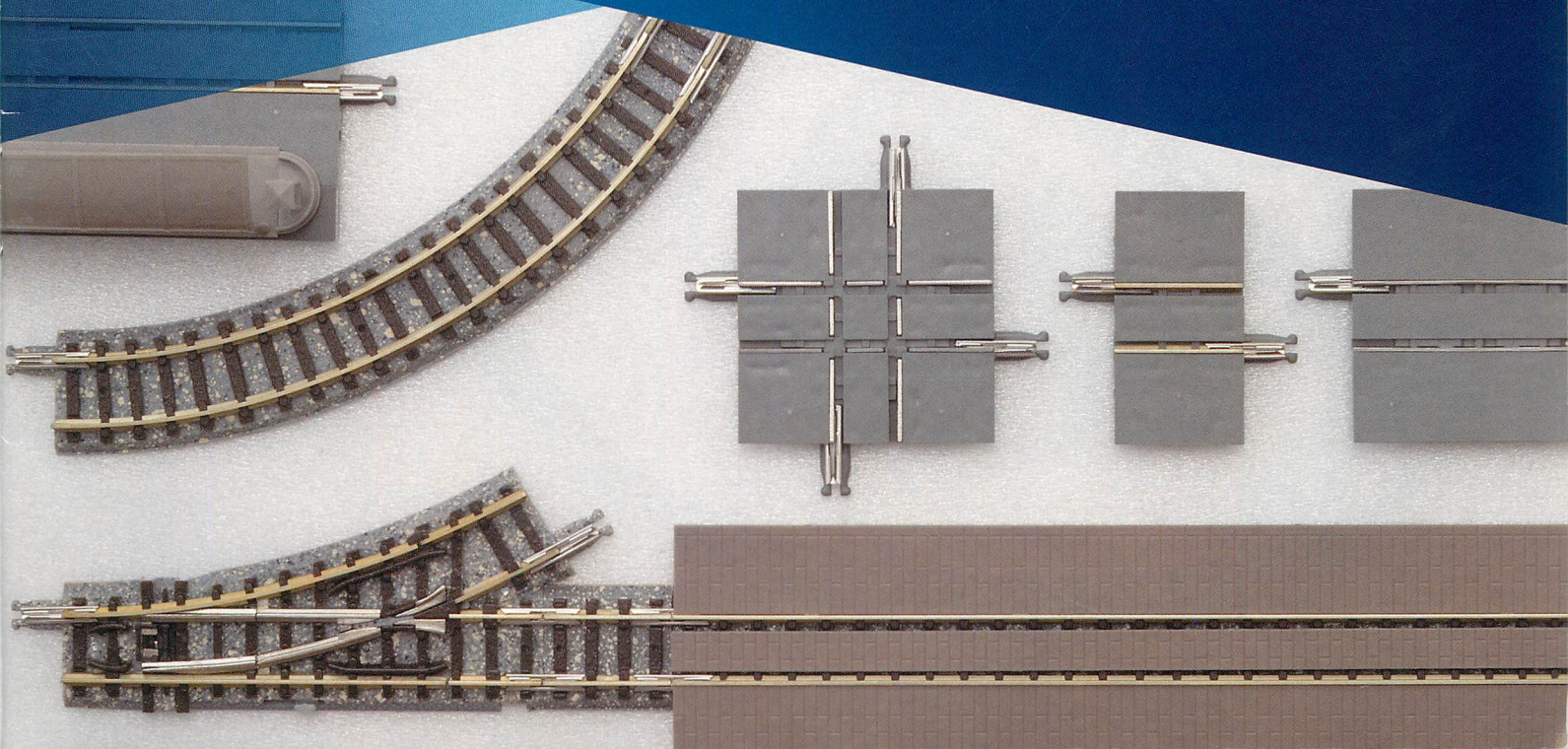


ミニカーブレールを思う存分に楽しもう!

トミックス 鉄道模型システムガイド (ミニカーブレール編2)

Tomix Model Railway System Guidebook
(Mini Curved Tracks Edition 2)



省スペースで多彩な発展

限られたスペースを最大限に活かし、存分に鉄道模型を楽しめるのがミニカーブレールを始めとする小半径のレール群です。路面軌道をリアルに再現したグループもラインナップしており、地方私鉄や路面電車などの独特な世界を再現するのに最適なものとなっています。

このシステムガイドでは、小半径レール群の奥深い楽しみ方の数々を紹介しています。

本書は既刊『トミックス鉄道模型システムガイド(ミニカーブレール編1)』の続編に当たるものです。小半径レールの基本をお知りになりたい方は同書を、鉄道模型「トミックス」の基本をお知りになりたい方は『同(基礎編)』をそれぞれご覧ください。また、ほかのテーマを扱ったシステムガイドや各種印刷物のラインナップについては裏表紙の案内をご参照いただき、目的に合わせてご利用ください。

Contents

ミニカーブレールを発展させよう	3	省スペースで楽しむ自動運転	21
路面軌道も発展させよう	4	ミニカーブレールならではの楽しみ方を極める	23
ロングラン運転を楽しもう	5	特別付録	26
路面軌道もロングランに挑戦	6	この本に出てくるトミックス製品の品番・価格の一覧	26
ミニカーブレールを路面軌道化しよう	7		
路面軌道と専用軌道を組み合わせよう	11		
レールの発展例	13		
ほかのレールの発展例と組み合わせよう	15		
まだまだ広がるシチュエーション	19		

※掲載の各製品の価格はP.26の一覧をご参照ください。

※本書のレイアウト写真には、一部旧製品やトミックス以外の製品も使用しています。



無限に広がる鉄道模型の世界

コンパクトさを活かした楽しみ方

半径177mmと140mmのミニカーブレイル、さらに小さな半径103mmのスーパーミニカーブレイル。これら小半径のレール群を使用することで、驚くほど小さなスペースでもレイアウトを展開することが可能になります。小ぶりのテーブルの上や出窓のちょっとしたスペースなど、これまでの鉄道模型の常識を破るシチュエーションで、あなただけのアイデアを活かした鉄道模型ワールドの展開をお楽しみください。



省スペースだけではない ミニカーブレイルの魅力

もちろん、省スペースだけがミニカーブレイル、スーパーミニカーブレイルの魅力ではありません。実車でも見られる小半径の曲線区間を再現する際に、これら小半径レール群は欠かすことのできない存在です。建物をぬうように走る地方鉄道や民家の軒をかすめて進む路面電車、スイッチバックを繰り返しながら進む登山鉄道などのシーンを実感的に再現します。

小半径レールならではの楽しみ方を追求

そのまま収納できるボックスの中にレイアウトを構築したり、気軽にレイアウトを屋外に持ち出ししたり。ミニカーブレイル、スーパーミニカーブレイルでなければできない楽しみ方がたくさんあります。本書では小半径レールならではのさまざまな楽しみ方をクローズアップしました。ただ、小半径レールは走行できる車両に制限がありますので、下の表でご確認の上お楽しみください。

スーパーミニカーブレイル、ミニカーブレイル走行可能車両

●スーパーミニカーブレイル走行可能トミックス車両

○キハ120(130)*1 ○キハ01(02,03)*2 ○箱根登山鉄道1000 ○松浦鉄道MR-100*1
○北海道ちほく高原鉄道CR70*1 ○南部縦貫鉄道キハ10*2

●ミニカーブレイル走行可能トミックス車両

(スーパーミニカーブレイル対応の車両は、ミニカーブレイルにも対応しています。)

○ED61 ○EF60 ○EF65 ○ED75 ○ED79 ○EH500 ○DE101000*3 ○Cタイプ小型 ○1131500系
○115系*4 ○211系 ○415系 ○2090-3000系 ○キハ183系*5 ○14系 ○24系*6
○12700系ユーロライナー ○コム1タイプ*7 ○チキ7000 ○タキ5450 ○タキ25000 ○シキ1000
○トラ70000*8 ○ワム80000*8 ○ワム380000*8 ○チ1タイプ*7 ○レム5000 ○ワラ1
○トラ145000 ○タム500タイプ ○ワム70000 ○ワム90000 ○ボム1 ○レ12000 ○カ3000
○ツム1000 ○ワム50000 ○ヨ6000 ○東武100系 ○名鉄8800系 ○長良川鉄道ナガラ300
○樽見鉄道ハイモ295-315 ○193系

*1:スーパーミニカーブレイルは単行のみ、ミニカーブレイルは2両(TNカブラー対応)まで。

*2:スーパーミニカーブレイル、ミニカーブレイル共に単行のみ。

*3:2010年12月以降に発売の製品。

*4:クモハ115形は非対応。

*5:キハ183100形は先頭車に使用する場合のみ。

*6:マニ24形は非対応。

*7:2008年9月以降に発売の製品。

*8:2008年4月以降に発売の製品。

※上記の一覧に掲載されていない車両で、車両製品パッケージ、車両製品説明書に対応表記がない車両は、スーパーミニカーブレイルやミニカーブレイル上を走行させることはできません。

※上記の一覧はあくまで参考で、状況によっては走行ができない場合があります。

※スーパーミニカーブレイル、ミニカーブレイルは高速運転には適しません。また、凹凸のある場所での使用は、車両が脱線する場合があります。

※ミニカーブレイル上を上記の一覧に掲載されている車両で走行させる場合、4両以下の編成でお楽しみください。

※編成を組む場合の車両のカブラーには、すべてアーノルドカブラーをご使用ください。TNカブラーには対応しません。

(特記車両を除く)

2014年5月現在



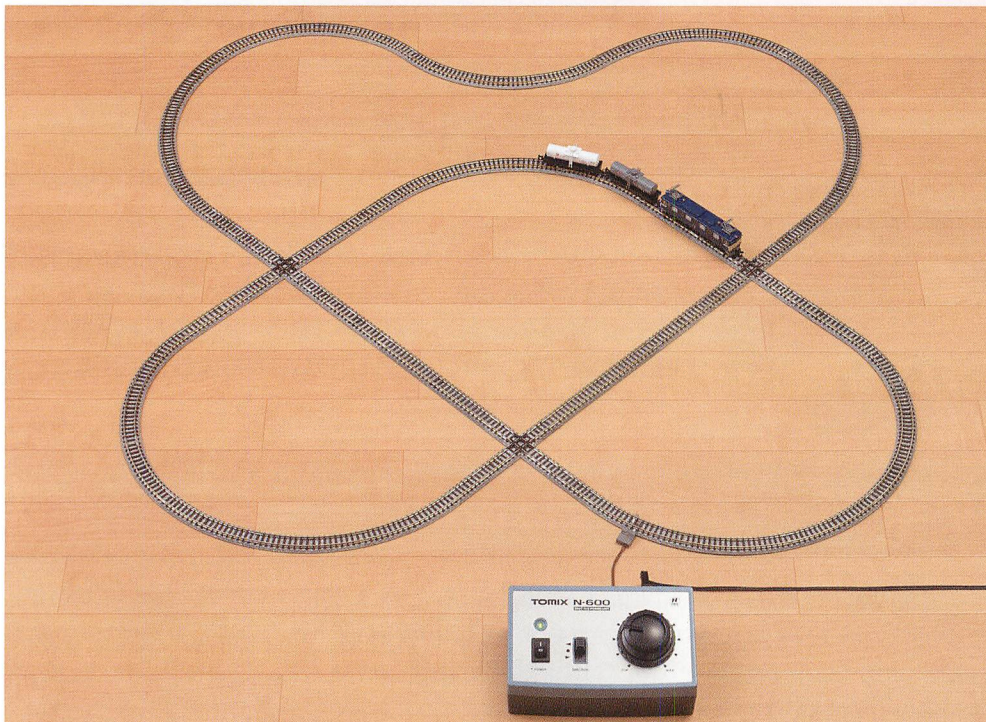
ミニカーブレールを発展させよう

前巻のシステムガイド『ミニカーブレール編1』では、レール発展例のステップ1～4を紹介していますので、本書ではさらにセットを組み合わせたものに挑戦していきましょう。小半径のレールでも長いレールパターンへ発展させることで、編成を組んだ列車の走行も十分に楽しめます。

レールパターン：MA+MX+MX+MX

単線での複雑な運転

ハートを上下に反転させて重ねたような形のプランです。3つの十字クロスによって3カ所の平面交差を持った複雑な路線を再現しています。一筆書きのような省スペース、ロングランを楽しめるプランです。



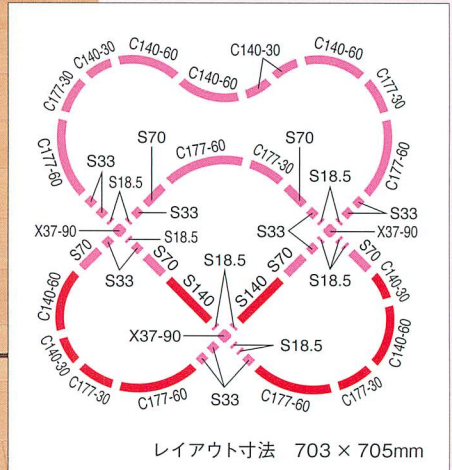
レールパターン展開図の見方

- はレールパターン MAまたはMA-WTまたはA
- はレールパターン MB
- はレールパターン MXまたはMX-WT
- はレールパターン D
- はレールパターン E
- はレールパターン CA
- はレールパターン HB-SL
- はワイドトラムレールへ置き換えたレール
- は追加するレール

*ワイドトラムレールの表記は同製品を表す「WT」を省略しています(一部を除く)。
⑩は橋脚の高さを示し、⑪は鉄橋に付属の橋脚の高さを示します。

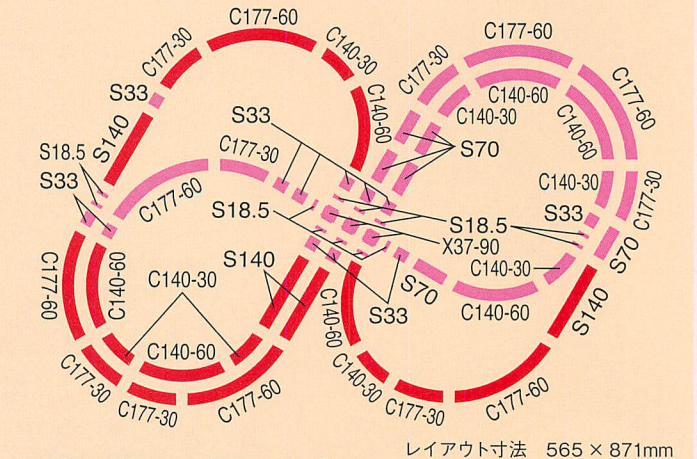
レイアウト寸法の単位はmmで、レールの中心から中心までの値です。

*本書のプラン図は、すべて上記の内容で表現しています。



工業地帯を走る貨物線をイメージしてみました。タンク車を連ねた列車が、ガスコンビナートの敷地への引込み線を進んでいきます。

レールパターン：MA+MA+MX+MX+MX



小判形が並ぶ単線のプラン

小判形が左右に並び、その2つが渦を巻くようにつながっています。2つの小判形ごとに、それぞれシチュエーションを分けて演出することができるプランです。

路面軌道も発展させよう

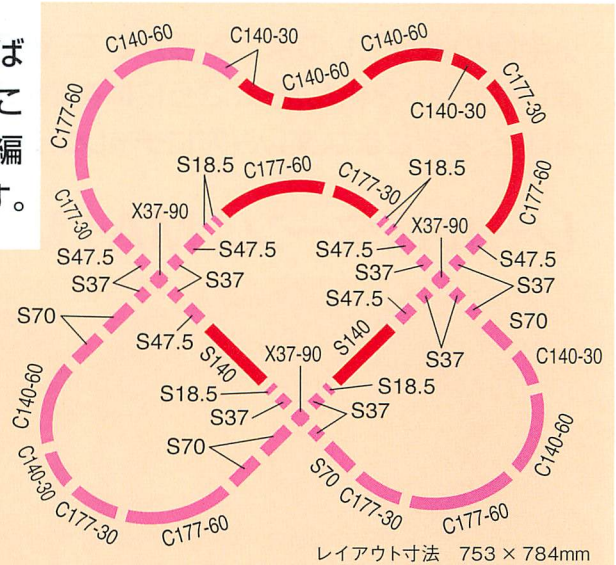


自動車と鉄道車両が一緒に走る路面軌道(併用軌道とも呼ばれます)を簡単に再現できるのがワイドトラムレールです。こちら線路長が長いレールパターンへ発展させることで、編成を組んだ列車も無理なく走れるレイアウトを実現できます。

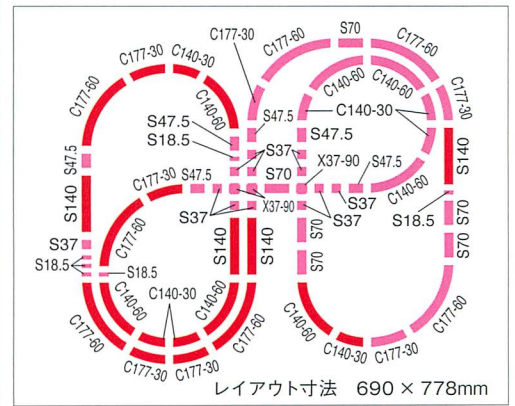
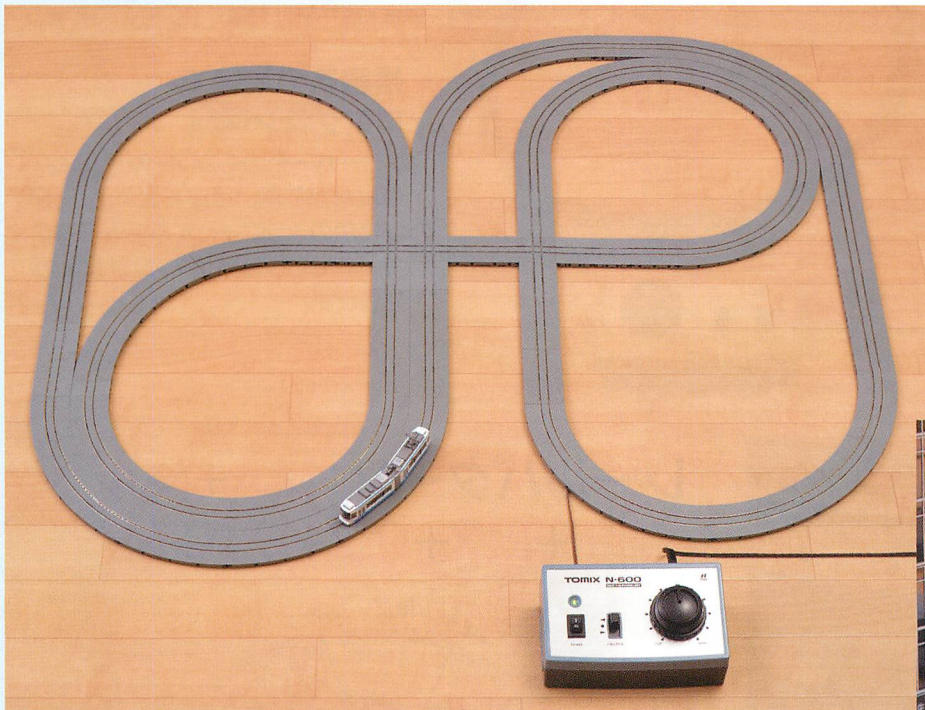
レールパターン: MA-WT+MX-WT+MX-WT+MX-WT

複雑な市内線を再現

ワイドトラムレールでもハートを上下に反転させて重ねた形のプランが再現可能です。3カ所の平面交差を持った複雑なレイアウトの路面軌道バージョンです。



レールパターン: MA-WT+MA-WT+MX-WT+MX-WT+MX-WT



ビルをめぐって走る市街地路線を再現

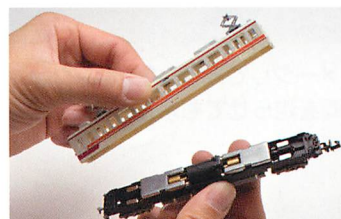
小判形を2つ並べたような形のレイアウトです。一部複線部分もできますが、一列車が一筆書きのようにすべてのレールを走ります。左右の小判を別々のエリアに見立てて楽しむことも可能です。



クロスする部分を境に、再開発後の新しい高層ビル群と再開発前の古いビル群に分かれた市街地をイメージしたレイアウトです。

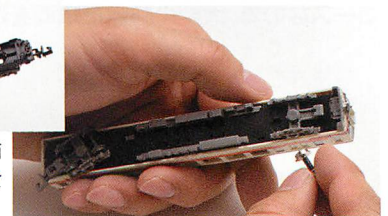
鉄コレの車両を動力化するには

鉄道コレクション(鉄コレ)シリーズはディスプレイモデルですが、動力ユニット(別売)を組み込むことによって、トミックス車両のようにNゲージのレール上を自走させることができます。編成で走らせる場合は、トレーラー車の車輪も金属車輪(別売)に取り替えましょう。車両によって対応する動力ユニット、走行用パーツは異なりますので、詳しくは鉄道コレクションシリーズの取り扱い説明書やパッケージをご覧ください。



動力化の際には車体長・車輪間隔に合った動力ユニットを組み込みます。

トレーラー車も走行用パーツによって車輪を金属製のものに交換する必要があります。



路面軌道もロングランに挑戦

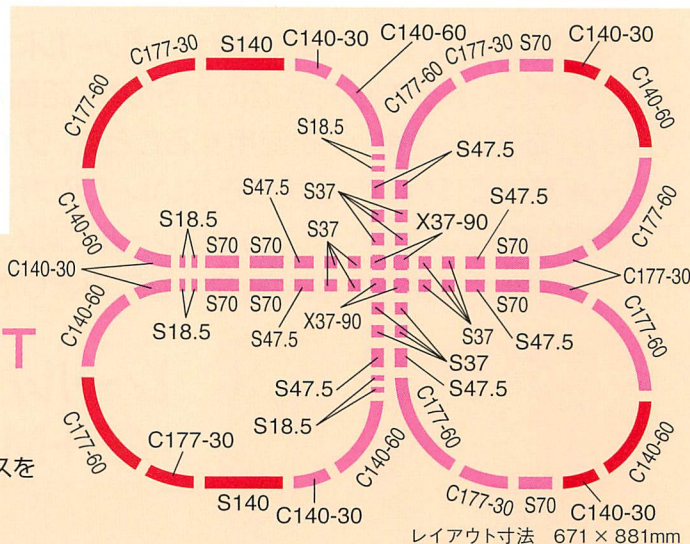


ワイドトラムレールでも単線のロングランレイアウトに1つの列車を走らせたり、長距離の複線にして2列車を存分に走らせるなど、レイアウトを展開させることで運転の楽しみが広がっていきます。

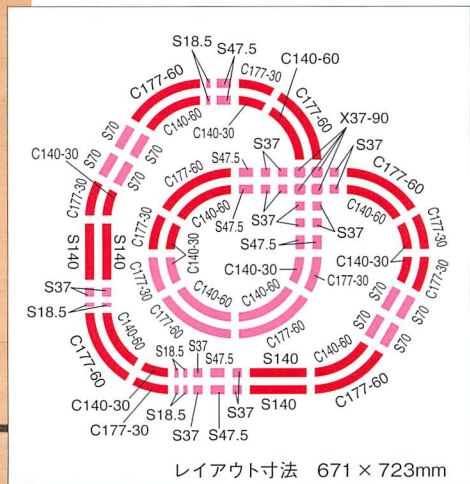
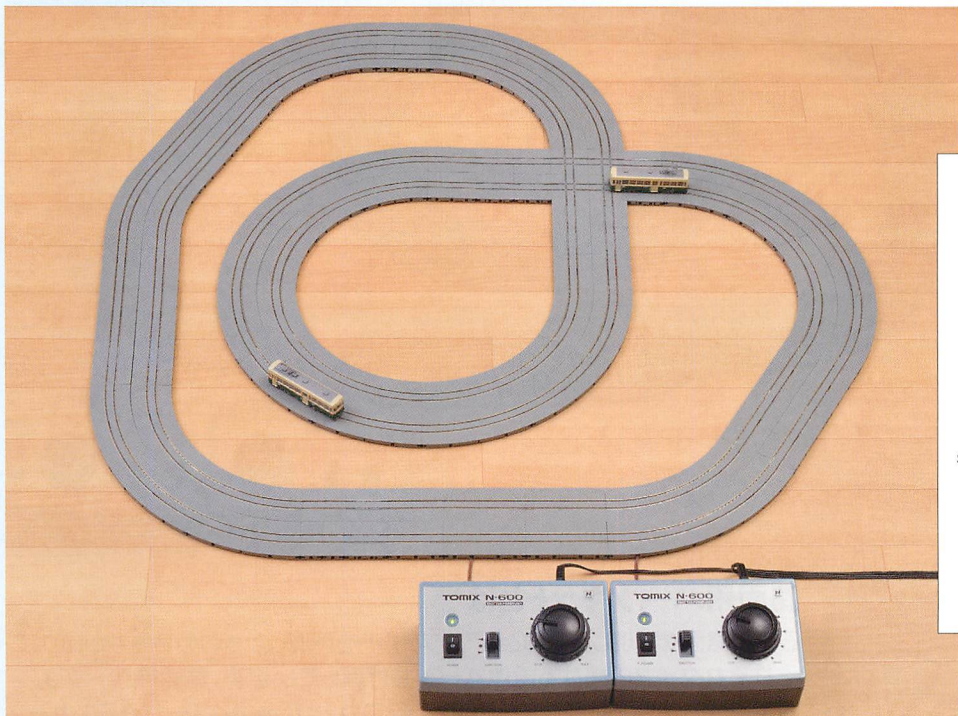
レールパターン: MA-WT+MX-WT+MX-WT+MX-WT

複雑な市内線を楽しむ

路面軌道で再現したクローバー形のレイアウトです。4つの十字クロスを中心部に持ち、その周囲は複線の雰囲気も楽しめるプランです。



レールパターン: MA-WT+MA-WT+MX-WT+MX-WT+MX-WT+MX-WT



複線の市内線を再現

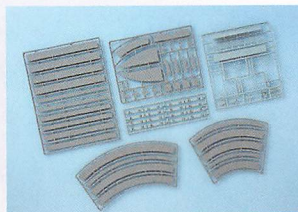
複線が平面交差するレイアウトです。複線どうしが交わるので、十字クロスが4つ組み込まれます。2列車の同時運転が楽しめますが、クロス部分を通過する際には、上下線の列車がお互いにぶつからないよう注意が必要です。場合によっては片方の列車を一時停止させて接触を避けましょう。

平面交差のある複線レイアウトは、複雑に行き交う路面電車のシーンを一層盛り上げられます。ここではかつての京都市電をイメージし、沿線に寺院などを配置してみました。



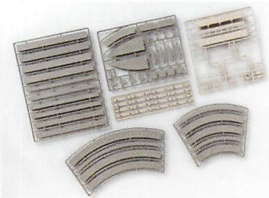
ミニカーブレールを路面軌道化しよう

ミニカーブレール、スーパーミニカーブレールに部品をかぶせることによって路面軌道にするのが『路面用パーツキット』です。このキットを使用することで、ワイドトラムレールだけでは組むことができないレイアウトも実現可能になります。ここでは、ミニカーブレールで組んだレールパターンを全線路面軌道に変身させてみました。

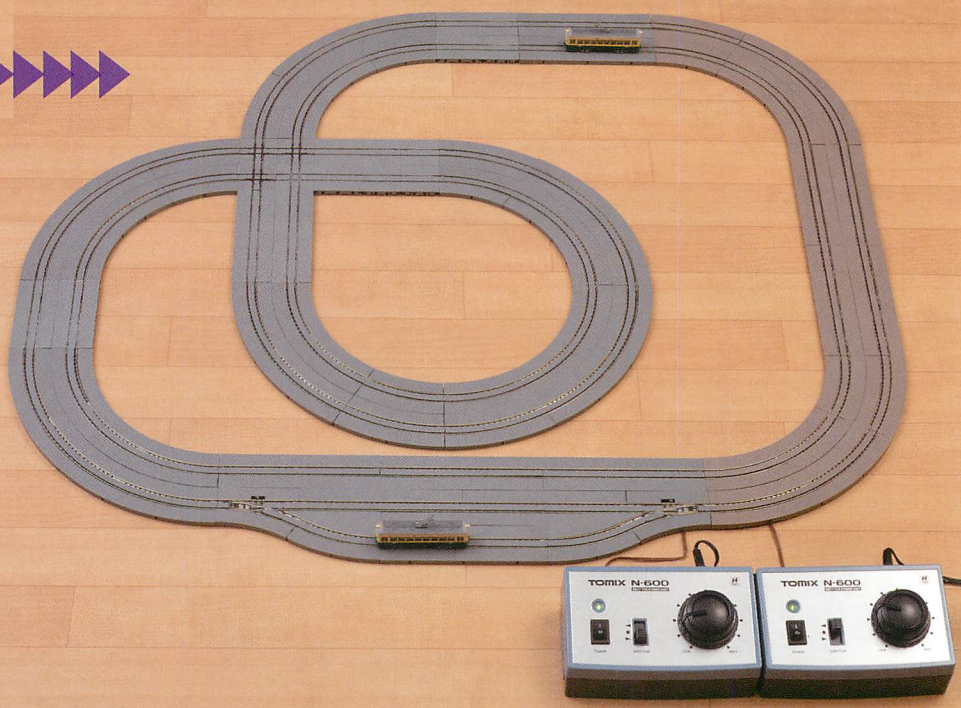
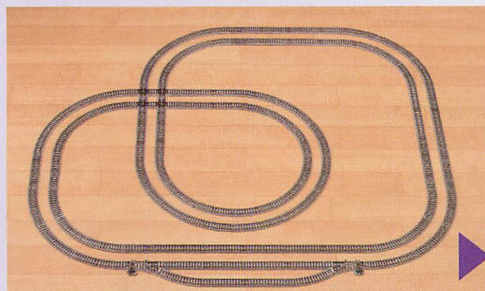


■路面用パーツキット1
〈3076〉

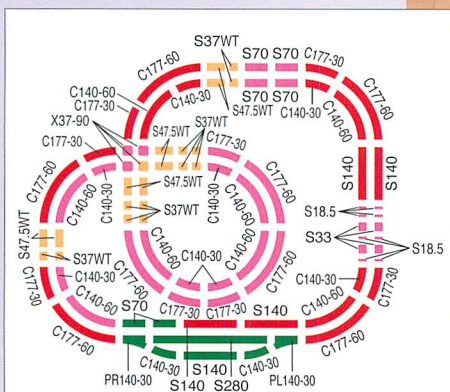
■路面用パーツキット2
〈3079〉



レールパターン：**MA+MA+MB+MX+MX+MX+MX**をベースにアレンジ



ベースにするレールパターン。これをアレンジした上、路面用パーツを取り付けて路面軌道化していきます。



レイアウト寸法 671 x 774mm

※アレンジ後のレール配置です。レールの置き換えによって、使用しないレールが生じます。詳しいアレンジ方法はP.8-9の図をご覧ください。

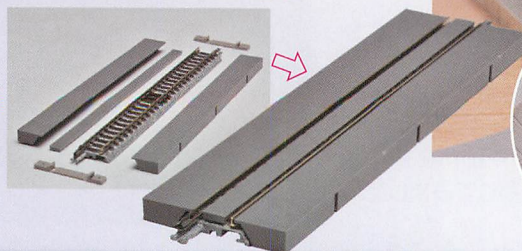
路面用パーツキットとは

石畳の路面を再現したものと、アスファルトを再現したものの2種類があり、それぞれタイプの異なる電停パーツも付属しています。路面用パーツは、固定用パーツや両面テープを使用してミニカーブレール、スーパーミニカーブレールに取り付けることができます。センターポールのパーツも付属しますので、リアルな路面電車風景の演出に大活躍します。



アスファルト仕様のパーツキット『路面用パーツキット2』の使用例。

ストレートレールを5つのパーツで覆うことで路面軌道に変身させることができます。取り付けに難しいテクニックや特殊な工具は必要ありません。



石畳仕様のパーツキット『路面用パーツキット1』の使用例。

①路面用パーツキットを活用して路面軌道化しよう!


路面用パーツキットを使用すればミニポイントの路面軌道化も可能なので、ワイドトラムレールの製品ラインナップにはない、路面軌道のポイントを再現するには必需品といえます。ただし、端数レールに

は対応していませんので、どうしても端数レールが必要な場合は、ワイドトラムレールの端数レールを使用します。

各種レールとポイントを路面軌道化

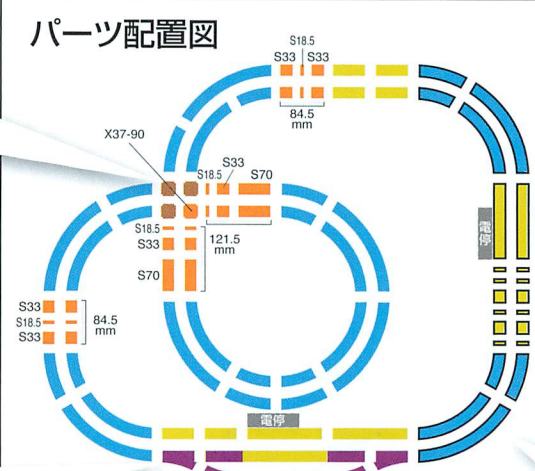
路面用パーツキットでは、ストレート・カーブ・十字クロスレール、ミニポイントが路面軌道化できます。1セットで路面軌道化できるレールの数

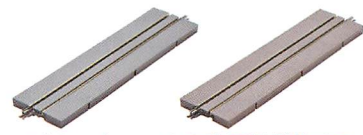
を確認し、何セットの路面用パーツキットが必要かを検討しましょう。ここでは、石畳仕様を1セット、アスファルト仕様を3セット使用しました。



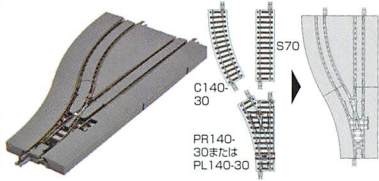
十字クロスレールを路面軌道化する
1セットで1つの十字クロスレールの路面軌道化が可能です。

パーツ配置図





ストレートレールを路面軌道化する
直線は、S140を基本にS70、S280など70mm単位で取り付けが可能です。1セットにつき560mm分を路面軌道化することができます。

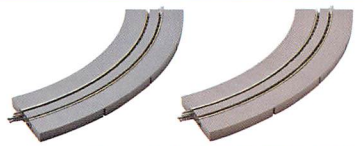


ポイントを路面軌道化する
ミニポイントは、1セットでPR140-30またはPL140-30のいずれか1つの路面軌道化が可能です。ミニポイントは、パーツの仕様上C140-30、S70と一体で路面軌道化します。

追加するパーツ

- 直線パーツを取り付け
- 曲線パーツを取り付け
- ポイントパーツを取り付け
- クロッシングレールパーツを取り付け
- 黒線は路面用パーツキット1
- パーツで路面化しないレール

『路面用パーツキット1』×1セット
『路面用パーツキット2』×3セット

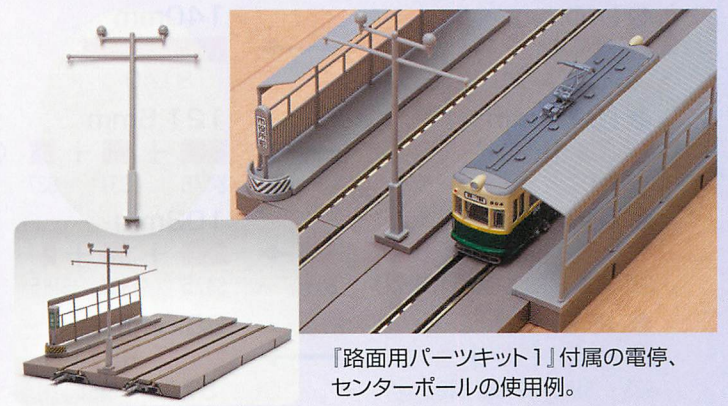
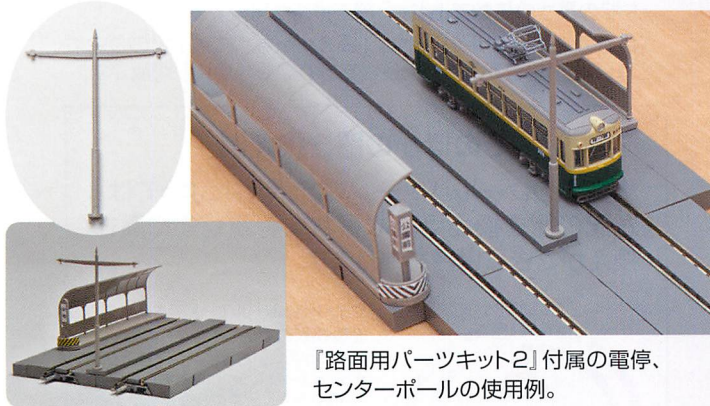


カーブレールを路面軌道化する
曲線は、C103、C140、C177のいずれも30°単位で取り付けが可能です。1セットにつき180°(半円)分を路面軌道化することができます。

電停を設置しよう

路面用パーツキットには電停パーツも付属しますので活用してみましょう。電停を設置することで路線が格段に実感的になります。

電停はS140以上の直線部に取り付けることができます。路面用パーツキットの1と2では電停など付属パーツの仕様も異なっています。



実車で見られるさまざまな軌道

実車の世界でも、道路と同じアスファルト舗装が施されたタイプと、軌道部分だけ石畳になっているタイプの2つがオーソドックスといえます。最近はそのほかにも、ヒートアイランド現象や騒音の防止効果を兼ねてレール間に芝生を植え込んだ芝生軌道や、制振構造を持ち、長寿命でメンテナンス効率のよい樹脂固定軌道なども増えつつあり、近代化が進んでいます。車両だけでなく、時代に沿って軌道も進化を遂げているのです。



②端数部分はワイドトラムレールの端数レールで置き換えよう

レイアウト上でどうしても中途半端な寸法になってしまう部分が生じることがあります。ここでは、そのような部分を端数レールに置き換える方法をご紹介します。ワイドトラムレールの端数レールは長さが必要なので、そのまま単純に置き換えることができません。端数レール

ル部分の長さを合わせてから下記の例のように置き換える必要があります。

※レールパターンや端数レールの組み合わせによっては、置き換えが難しい場合もあります。また、ミニカーレールシリーズのセット製品に含まれる端数レール、ストレートレールは基本レールと同じ仕様です。

端数レールを置き換える
ワイドトラムレールの端数レールへ置き換えます。

十字クロスレールを置き換える
ワイドトラムレールの十字クロスレールに置き換えます。

十字クロスレールに付属する補助レールもほかの箇所の置き換えに活用します。

置き換え図

■ワイドトラム端数レール
S18.5・S37・S47.5-WT (F) (4本組)〈1798〉

■ワイドトラムクロスレール
X37-90-WT (F) (補助レール付) 〈1799〉

追加・置き換えを行うレール

クロスレール×1セット
端数レール×6セット

- 端数レールに置き換え
- クロスレールに置き換え
- クロスレールに付属の端数レールに置き換え
- ワイドトラム端数レール
- ワイドトラムクロスレールまたは、それに付属の補助レール
- 路面用パーツキット

Ⓐ Ⓑ 下記の置き換え可能な長さの例において該当する例

端数レールを含むミニカーレールをワイドトラムレールへ置き換える場合 置き換え可能な長さの例

ミニカーレール	ワイドトラムレール
● 140mm S70 + S33 + S18.5 + S18.5	140mm S140
● 121.5mm S70 + S33 + S18.5	121.5mm S47.5 + S37 + S37 Ⓐ
● 103mm S33 + S33 + S18.5 + S18.5 または S70 + S33	103mm S47.5 + S37 + S18.5
● 88.5mm S33 + S18.5 + S18.5 + S18.5	88.5mm S70 + S18.5
● 84.5mm S33 + S33 + S18.5	84.5mm S47.5 + S37 Ⓑ
● 70mm S33 + S18.5 + S18.5	70mm S70

左記以上の長さは、例を参考に計算してみましょう。
・左記の長さの倍数であれば、置き換えが可能です。
・共通の端数レールの長さは18.5mmなので、左記の長さには18.5mm単位が加わった長さであれば置き換えが可能です。

そのほかの置き換え例

小判形のレールパターンなど、条件によっては、左記の置き換え可能な長さを考慮せずに置き換えができる場合もあります。

ワイドトラムレールで一括置き換え
左図のように向かい合う横方向の直線の長さが同じ小判形のプランで、S33 + S18.5 = 51.5mm など対応できるワイドトラムレールの長さがない場合でも、左右に広げて問題なければワイドトラムレールのS70WTに置き換えると、簡単に路面軌道化ができます。

路面用パーツキットを活用する場合
この例で路面用パーツキットで路面軌道化する場合は、S18.5を付け足してパーツが対応する70mmにすると可能になります。

51.5mm (33 + 18.5) → 70mm (33 + 18.5 + 18.5)

※ 共通の長さのレールであるS140、S70、S18.5とその倍数の長さは置き換え可能です。
※ 上記は一例であり、ほかのレールの組み合わせで同じ長さにすることが出来る場合もあります。
※ 上記の組み合わせ以外でも、S37やS140などは半分の長さのレール2本で構成された場合も同様です。 ■ = ■ + ■ ■ = ■ + ■

ワイドトラムレールと路面用パーツキットを使い分けよう

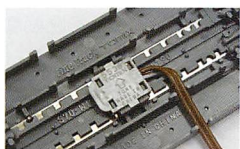
路面用パーツキットとワイドトラムレールでは、以下のように仕様が若干異なっています。それぞれの特徴を考慮しながら目的に合わせて使い分けましょう。

ワイドトラムレールと路面用パーツキットの特徴

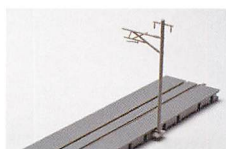
●ワイドトラムレール

- ・つなげるだけで手軽に路面軌道を再現可能
- ・ほかのレールと同様に架線柱の取り付けが可能
- ・各種セットで発展パターンを組むことが可能
- ・端数レールが必要なレールプランが可能
- ・ジョイントで隣り合うレールとの固定が可能
- ・裏の準備穴に合わせて穴をあけることで、路面用パーツキットに付属の中央分離帯やセンターポールを設置も可能

仕様の違いに
注意しましょう



D.C.フィーダーNはワイドレール・スラブレール用を使用

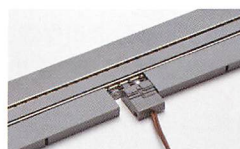


架線柱は別売のものを脇に差し込んで使用

●路面用パーツキット

- ・ミニカーブレイル、スーパーミニカーブレイルを活用して路面軌道化が可能
- ・アスファルトと石畳の2種類の再現が可能
- ・ミニポイントの路面軌道化が可能
- ・電停の設置が可能
- ・中央分離帯やセンターポールタイプの架線柱を設置することが可能

仕様の違いに
注意しましょう



D.C.フィーダーNはノーマルタイプを使用



架線柱は付属のセンターポールを使用

路面用パーツキットの電停をアレンジして使いこなそう

路面用パーツキットに付属する電停パーツをそのまま使っても十分に楽しめますが、少しアレンジを加えるだけで、より一層実感的にすることができます。



屋根のないタイプの電停を再現する

電停パーツには屋根が含まれていますが、実車の世界では屋根がないシンプルなタイプの電停もよく見かけます。あえて屋根を付けないで設置することで、ひと味違う電停シーンを演出することができます。また、屋根なしであれば、中央分離帯パーツをそのままホームとして使用することも可能です。

付録を活用して電停を実感的にしよう!

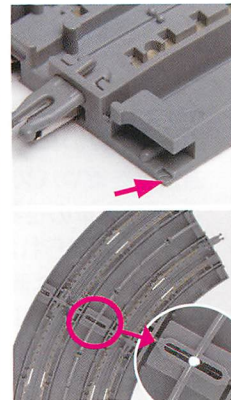
システムガイド『ミニカーブレイル編1』と本書のP.26には、電停の詳細アップ用の絵柄を掲載していますので、実感的な電停シーンの再現にお役立てください。ここでは、系統によって停車位置が分けられた分岐駅をイメージしてみました。



曲線区間にセンターポールを立てる

曲線区間にセンターポールを立てるには、根元の爪をカッターなどで削り取り、両面テープや接着剤で固定することで手軽に設置することができます。また、ワイドトラムレールには、裏面の角の部分にセンターポール用の型が彫ってあります(写真赤矢印)。この部分をデザインナイフなどで切り抜けば、センターポールを埋めるような形で設置することもできます。

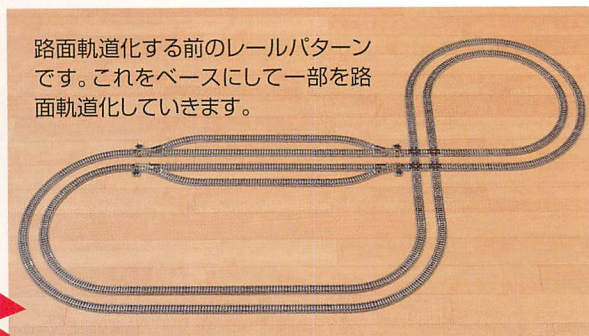
※写真はセンターポールに塗装を施しています。



路面軌道と専用軌道を組み合わせよう

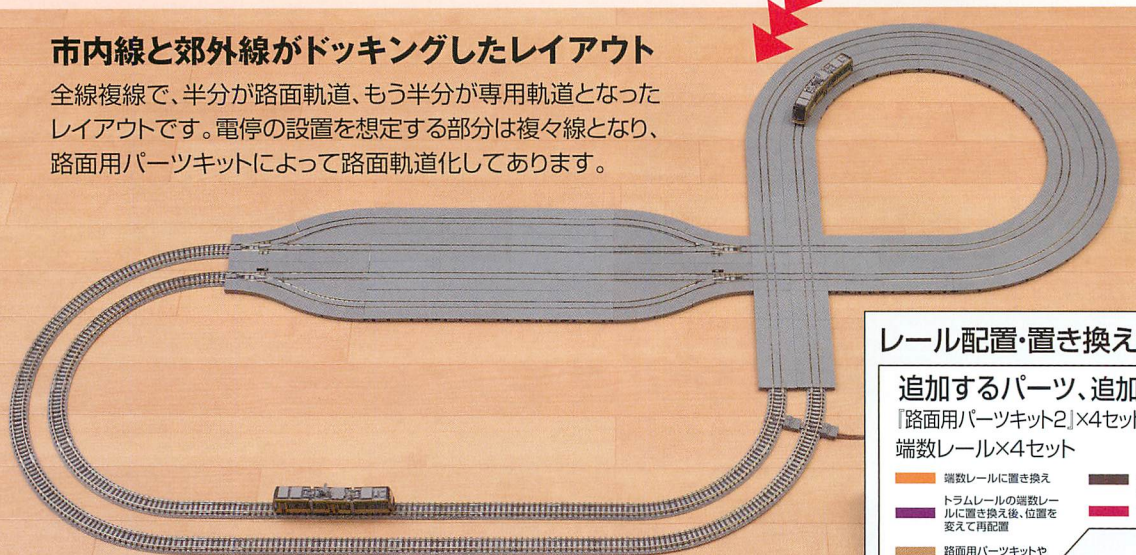
実車の路面電車の世界では、自動車などと一緒に走る路面軌道に対し、列車専用の線路を走る一般的なスタイルの区間を専用軌道と呼びます。ここでは、その双方を組み合わせたレイアウトを再現してみましょう。

レールパターン：**MA+MB+MB+MX+MX+MX+MX** をベースにアレンジ



市内線と郊外線がドッキングしたレイアウト

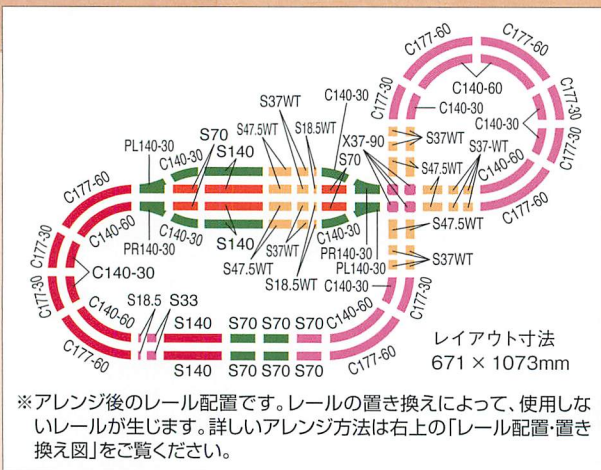
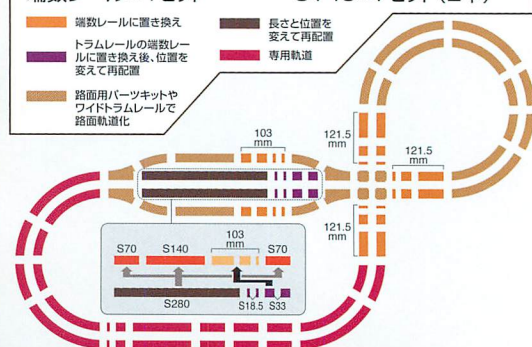
全線複線で、半分が路面軌道、もう半分が専用軌道となったレイアウトです。電停の設置を想定する部分は複々線となり、路面用パーツキットによって路面軌道化してあります。



P.7と同様、一部ワイドトラムレールの端数レールと交換する必要があります。また、ポイントを路面軌道化するにはパーツの仕様上、ポイントとワイドトラムレールを直接接続できないため、下図のようにレール配置の変更や置き換えが必要になります。

レール配置・置き換え図

追加するパーツ、追加・置き換えを行うレール
 『路面用パーツキット2』×4セット S70×2セット(4本)
 端数レール×4セット S140×1セット(2本)



電停部分を路面軌道化して、併用軌道と専用軌道の接続駅を再現してみました。この電停を境に市内線と郊外線が分かれるイメージです。



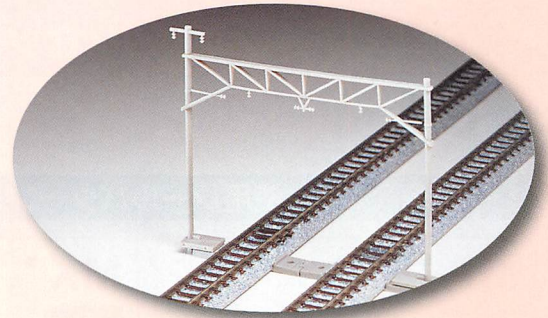
路面軌道と専用軌道を持つ路線

道路上を車やバスに混じって走るイメージが強い路面電車ですが、実車の世界では路面軌道と専用軌道をあわせ持つ路線は多く見られます。都市中心部は路面軌道で市街地へ乗り入れ、郊外は普通の電車のように専用軌道を走るスタイルです。右の写真は鹿児島市交通局（鹿児島市電）の例で、同じ路面用の車両でも路面軌道区間と専用軌道区間では雰囲気がいびん違います。





郊外線の専用軌道区間は、路面電車もスピードを上げて駆け抜けます。実車の世界では踏切が設置されているケースもあるので、リレーラールで路面電車が踏切を通過するシーンを再現してもいいでしょう。また、架線柱を設置することでより実感的になります。



■複線架線柱・近代型(6本セット)<3004>

市内線の路面軌道区間は、周りの自動車に気を配りながらゆっくりと進みます。バスコレクション、カーコレクションなどの車両を配置して雰囲気盛り上げましょう。1つのレールパターンで異なる2つの雰囲気を楽しめるのもこのレイアウトの魅力です。



■ミニホームセット<4060>



車高が高い車両に対応した駅にアレンジ

路面用車両は乗降のしやすさを考慮して車高が低いのが特徴ですが、車高の高い一般車両と混在して走る路線もあります。その場合、車高の高い車両にステップを付けて電停に対応したり、途中で高さが異なるホームを設置して停車位置で使い分けたりしています。このレールパターンでも、ホーム部に電停と『ミニホームセット』を設置すると、双方に対応した駅を再現することができます。なお、ミニホームを設置する部分は、路面用パーツを片側だけ取り付けるようにします。

路面軌道化したポイントで折り返しを作ろう!

実車の世界では、複線の路面電車の終点が単線の電停になっているケースもよく見られます。路面用パーツキットを活用して、このような折り返しの電停を再現してみましょう。折り返した電車は、ポイントで入線したのとは逆の線へと進み、複線区間を走っていきます。



レールの発展例

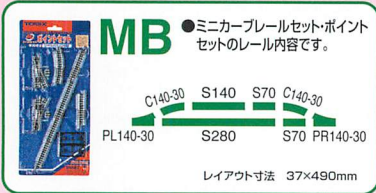
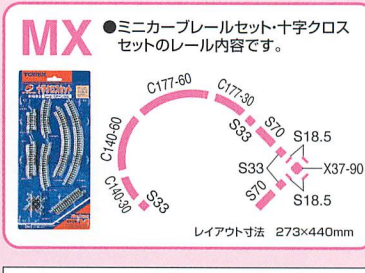
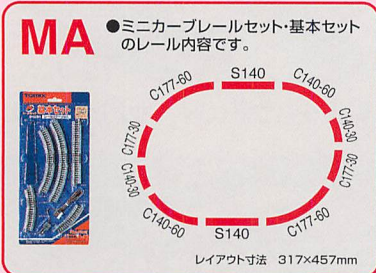
ミニレールセット、ワイドラムミニレールセットを使ったレールの発展パターンです。このページでは、STEP4以上のレイアウトプランを紹介しています。



基本セット+ミニカーブレールセットの発展例

STEP 1

使用レールパターン



列車の運転には、パワーユニットNが必要です。また、レールが複線になる場合はパワーユニットNが2台必要になります。

凡例

- はレールパターンMA
- はレールパターンMB
- はレールパターンMX



STEP 4

STEP 5

<p>MA+MA+MB+MB</p> <p>レイアウト寸法 354×844mm</p>	<p>MA+MA+MB+MB</p> <p>レイアウト寸法 531×844mm</p>	<p>MA+MA+MB+MB</p> <p>レイアウト寸法 391×774mm</p>	<p>MA+MA+MB+MB+MX</p> <p>レイアウト寸法 523×1071mm</p>	<p>MA+MB+MX+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 830×1120mm</p>
<p>MA+MA+MB+MX</p> <p>レイアウト寸法 415×809mm</p>	<p>MA+MA+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 562×663mm</p>	<p>MA+MX+MX+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 708×807mm</p>	<p>MA+MX+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 741×737mm</p>	<p>MA+MX+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 741×737mm</p>
<p>MA+MA+MB+MX</p> <p>レイアウト寸法 634×914mm</p>	<p>MA+MB+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 546×1017mm</p>	<p>MA+MA+MB+MB+MX</p> <p>レイアウト寸法 564×877mm</p>	<p>MA+MA+MX+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 565×877mm</p>	<p>MA+MA+MX+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 565×877mm</p>
<p>MA+MB+MB+MX</p> <p>レイアウト寸法 669×1050mm</p>	<p>MA+MX+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 703×705mm</p>	<p>MA+MA+MB+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 564×844mm</p>	<p>MA+MB+MB+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 578×877mm</p>	<p>MA+MB+MB+MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 578×877mm</p>



ワイドラムミニレールセット 基本セット+十字クロスセットの発展例

STEP 1 >>>>>> STEP 4 >>>>>

使用レールパターン

MA-WT ●ワイドラムミニレールセット・基本セットのレール内容です。

MX-WT ●ワイドラムミニレールセット十字クロスセットのレール内容です。

列車の運転には、パワーユニットNが必要です。また、レールが複線になる場合はパワーユニットNが2台必要になります。

凡例

- はレールパターンMA-WT
- はレールパターンMX-WT

**MA-WT+MA-WT
+MX-WT+MX-WT**

レイアウト寸法 583x704mm

**MA-WT+MX-WT
+MX-WT+MX-WT**

レイアウト寸法 753x784mm



STEP 5

**MA-WT+MA-WT
+MX-WT+MX-WT
+MX-WT**

レイアウト寸法 671x918mm

**MA-WT+MX-WT+MX-WT
+MX-WT+MX-WT**

レイアウト寸法 671x881mm

**MA-WT+MA-WT+MX-WT
+MX-WT
+MX-WT**

レイアウト寸法 690x778mm

STEP 6

**MA-WT+MA-WT
+MX-WT+MX-WT
+MX-WT+MX-WT**

レイアウト寸法 671x723mm

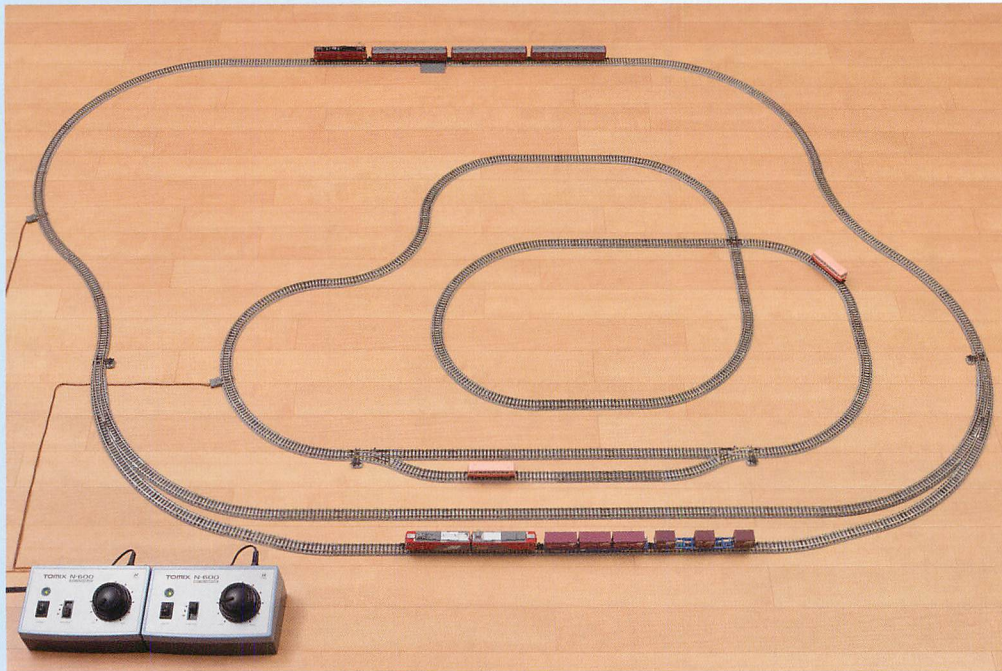
>>> STEP 6 >>>>>>>>>>>>>>> STEP 7

<p>MA+MA+ MB+MX+ MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 760x877mm</p>	<p>MA+MB+MX+MX+MX +MX</p> <p>レイアウト寸法 564x863mm</p>	<p>MA+MA+ MB+MB+ MX+MX+ MX</p> <p>レイアウト寸法 778x863mm</p>	<p>MA+MB+MB +MX+MX +MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 671x1073mm</p>
<p>MA+MA+ MX+MX+ MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 580x746mm</p>	<p>MA+MA+MB+MB+MX +MX</p> <p>レイアウト寸法 653x1073mm</p>	<p>MA+MA+MB+MX+MX +MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 671x774mm</p>	<p>MA+MB+MB +MX+MX +MX+MX</p> <p>レイアウト寸法 741x1157mm</p>
<p>MA+MB+MB+MX+MX +MX</p> <p>レイアウト寸法 616x826mm</p>			

ほかのレールの発展例と組み合わせよう

基本レールやワイドPCレールなど、ほかのカテゴリーのレールと組み合わせることで楽しみの幅がより広がります。まずは、基本レールによるレールパターンAとEで組んだレイアウトの内側にミニカーブレールで作ったレイアウトを配置してみました。

レールパターン：**A+E**、
MA+MA+MB+MX

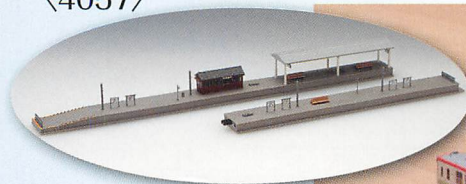


幹線と地方鉄道の接続駅を再現

別の鉄道会社どうしが接続する駅などでは、同じ構内にそれぞれのホームが配置されているケースがよく見られます。ここでは、基本レールを幹線、ミニカーブレールを地方鉄道と見立ててみました。下の写真はミニホームセットを活用して、独立した地方鉄道の小さなホームでかわいい列車が出発を待つシーンを再現してみました。



■島式ホームセット
(ローカル型)
<4057>



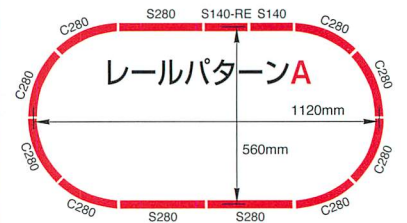
ミニカーブレールも直線部は基本レールと同一ですので、設置スペースが確保できれば、ミニホーム以外のホームも設置可能です。右の写真では、それぞれのレールパターンの中に島式ホームを設置して、同一ホームで接続する形態をイメージしました。この写真の場合、ホームの有効長を長くするためミニポイントの向きを反転させています。



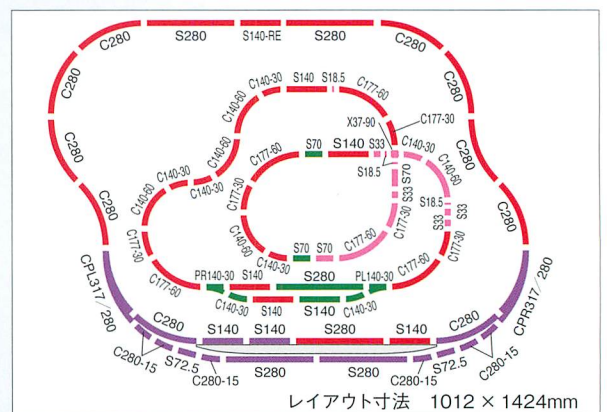
■ベーシックセット
SD各種



■マイプランLTⅢ(F)
<90947>



■レールセット カーブポイント
セットⅡ <91095>



レイアウト寸法 1012 × 1424mm

路面軌道は市街地を走るイメージが強
いので、高架のパターンと組み合わせ
ても似合います。ワイドPCレールの基
本セット『カント付レール 基本セット』と
『高架複線 スラブ駅セットⅡ』を使って
高架の駅前シーンを再現しました。

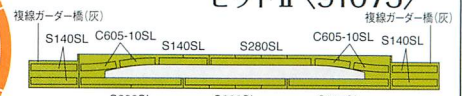
レールパターン: **CA+CA+
HB-SL、MA-WT+MX-
WT+MX-WT+MX-WT
+MX-WT**をベースにアレンジ



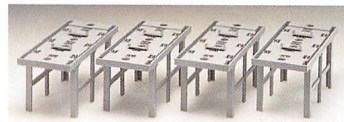
■カント付レール
基本セット
<91011>



■高架複線 スラブ駅
セットⅡ <91075>



レールパターン **HB-SL**



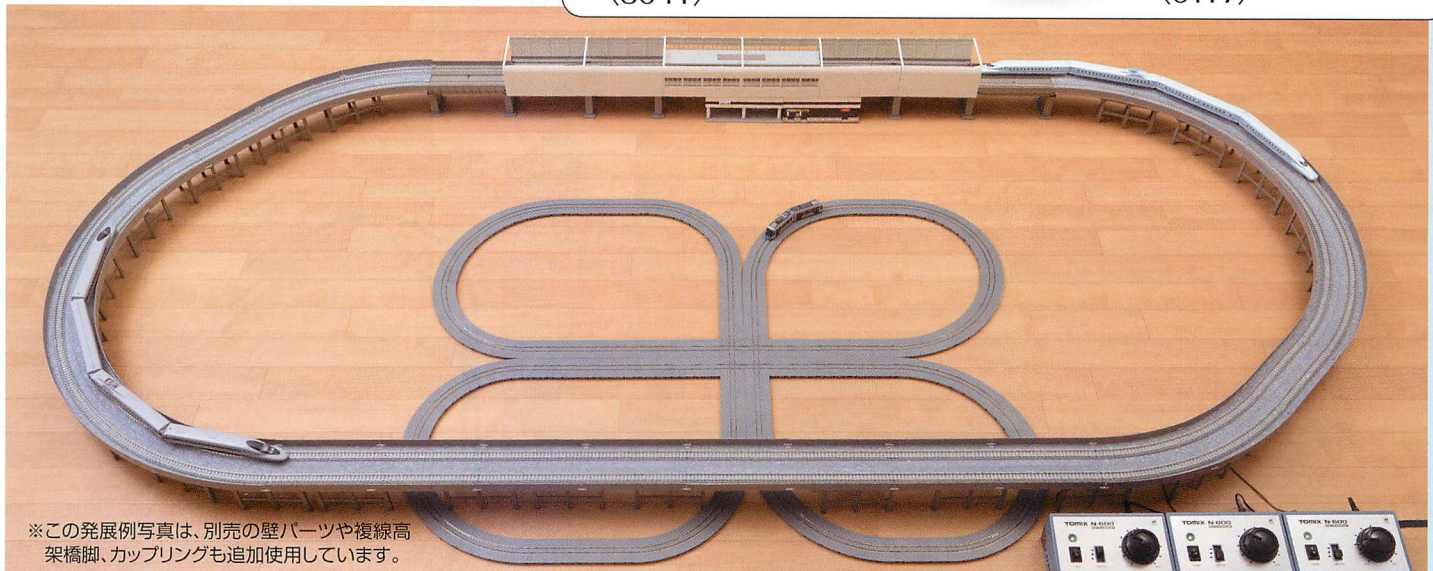
■複線高架橋脚(4個入)
<3041>



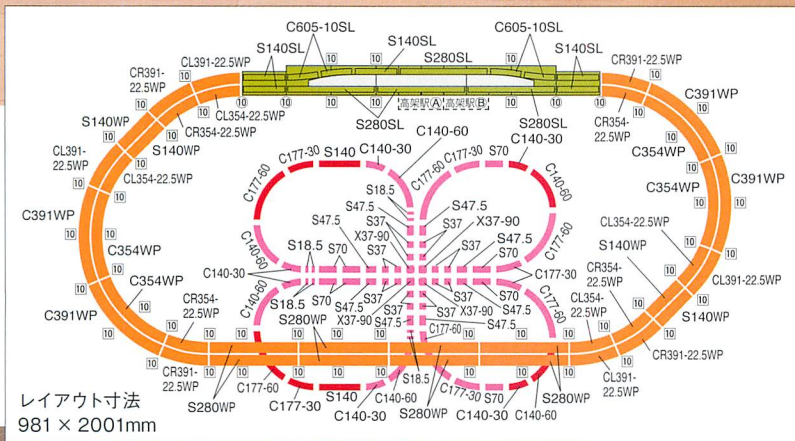
■ワイドレール・スラブ
レール用カップリング
(16個入) <0116>



■ワイドレールカント部用
カップリング(16個入)
<0117>



※この発展例写真は、別売の壁パーツや複線高
架橋脚、カップリングも追加使用しています。



高架駅の前に電停とバスターミナルを再現

路面電車の停まる駅前風景を演出しました。路面
用パーツキットの電停は、パーツの爪を削って両面
テープで固定することで、ワイド tram レールにも
手軽に設置できます。ジオコレのバス停を並べれば、
バスターミナルのある大規模な駅を再現できます。

■複線高架橋脚
ガード下建物
セット B <4104>



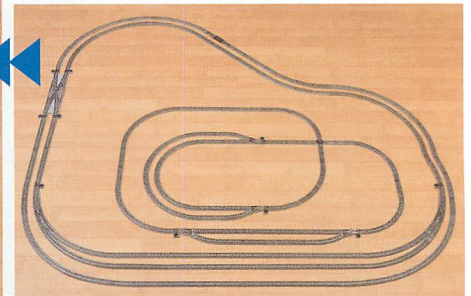
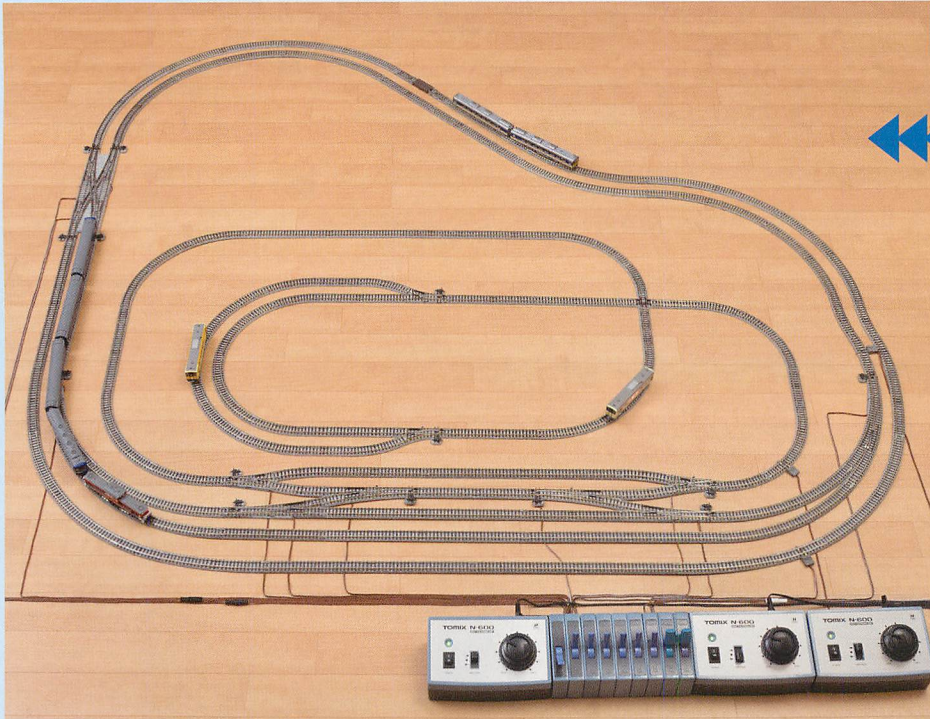
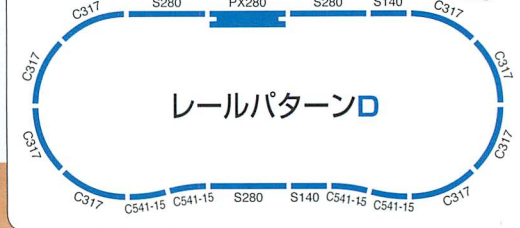
路面軌道が高架下をくぐるように進んだ
所に電停を追加してみました。橋脚を活用
してガード下に建物セットなどを配置
すると、電停周りの情景が引き立ちます。



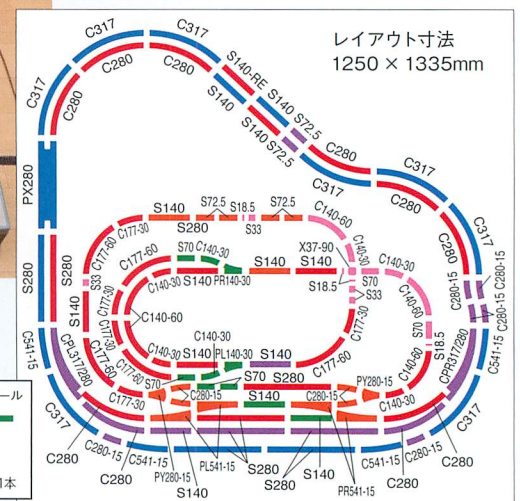
カテゴリーの違うレールパターンを別々に配置するだけでなく、合体してみたレイアウトです。ミニカーレール内で走らせていた車両をほかのレールへ直通運転させて楽しむことができます。

レールパターン：A+D+E、MA+MA+MB+MB+MXをベースにアレンジ

■レールセット
複線化セット
<91064>



上のように2つの独立したレールパターンの一部を接続して行き来ができるようにします。



地方線と幹線の乗り入れ運転を再現

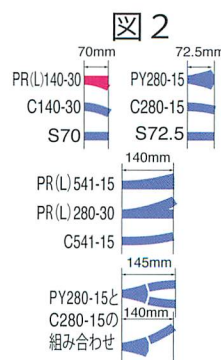
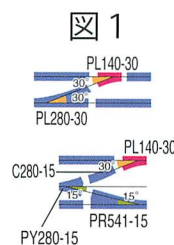
レールパターンAにDとEを追加して作った複線円周レイアウトの内側にミニカーレールのレイアウトを配置し、駅部分で接続させました。ローカル線の車両が幹線区間に直通運転するイメージです。

ミニポイントと基本レールで渡り線を作る場合の注意

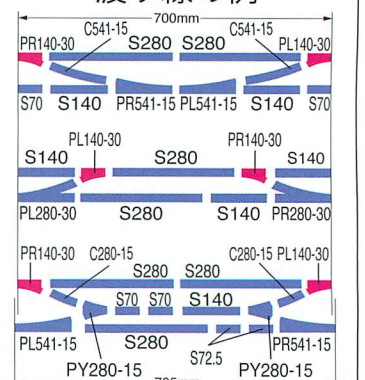
ミニカーレールと基本レールでは、カーブやポイントの規格が異なるため、組み合わせて渡り線を作る場合は注意が必要です。

例として、ミニポイントと基本レールのポイントを接続する場合、ミニポイントは30°なので、接続する基本レール側も30°に合わせて接続する必要があります(図1)。また、ミニポイントやC140-30は、直線換算でS70相当です(図2)。組み合わせる際には基本レールも含めて水平方向の長さを確認しましょう。

また、渡り線の一列を図で記しています。そのほか基本レールの規格の詳細は『システムガイド(応用編)』をご参照ください。



渡り線の場合

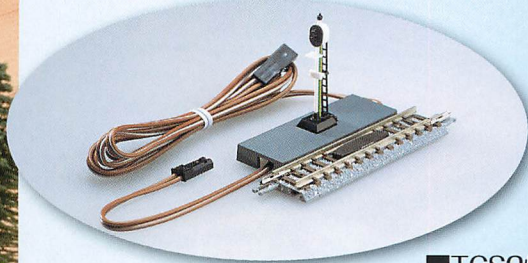


オリジナルプランでもほかのカテゴリーのレールと組み合わせることで、表現の幅が一段と広がります。さまざまな組合せパターンにチャレンジしてみましょう。



基本レールなどで立体交差を組み込む

ミニカーレール単体では平面しか展開できませんが、基本レールなど立体交差が可能なレールと組み合わせることで立体的な展開を楽しむ方法もあります。ここでは、鉄橋を渡る森林鉄道をイメージしてみました。また、ミニポイントで作った行き違いに基本レールの自動信号機を組み込むことで信号所の雰囲気演出しています。



■TCS2灯式信号機(F)
〈5565〉

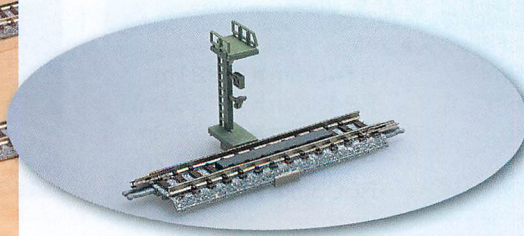
ワイド tramレールとワイドPCレールで、近代的なLRTを再現

近年では路面電車が見直され、新型のLRT(中量輸送交通システム)も各地で登場しています。また、新設や改良によって専用軌道ではPCまくら木を使用した高規格な路線も増えています。ワイド tramレールにワイドPCレールを組み合わせることで近代的なLRT路線のシーンを演出してもいいでしょう。



ミニカーレールを未電化ローカル線に見立てる

走行できる車両に制限があるミニカーレールを、同じく入線できる車両に制限がある未電化路線に見立てて楽しむのもいいでしょう。ここでは客車がミニカーレールに入線する際、電気機関車から入線可能なディーゼル機関車へつなぎかえてから進行していくシーンを再現しました。機関車の解放には、『解放ランプ付レール』を使うと自動で解放ができて便利です。



■解放ランプ付
レールM70(F)
〈1521〉

まだまだ広がるシチュエーション

これまで、ミニカーブレールを使った省スペースでの楽しみ方をメインに紹介してきました。ここからは、省スペースだけにとらわれず、急カーブや路面軌道を活かした実感的なシーンの再現にスポットを当ててみましょう。



道路にあわせて走る路面軌道に急カーブはつきものです。列車自体も小型で単行のケースが多いため、急カーブも難なく通過していきます。

急カーブが特徴の路線の再現に活用しよう

登山鉄道など急カーブを持つ路線の再現にミニカーブレールは欠かせません。小半径の曲線に車両を折り曲げるかのごとく、レールをきしませながら通過していくシーンを臨場感たっぷりに再現することができます。



ミニポイントで路面電車の車庫を再現しよう

市内を走る路面電車は、車庫も市街地に設けられているケースが見られます。限られたスペースの中でコンパクトにまとめられた車庫に、密集して車両がたたずむ光景は路面電車ならではのものです。ミニポイントを多数活用することで一定スペース内での多分岐を実現し、実感的な車庫風景を再現することができます。

実車で見られる急カーブ

ミニカーブレールシリーズは、現実ではありえない急カーブと思われるかもしれませんが、実車の世界でも、スケールを合わせればスーパーミニカーブレールと同等やそれ以上の急カーブが存在します。ここでは、トミックスレールの半径を実車サイズに換算した上、実車で見られる急カーブを集めてみました。

半径の実車換算

トミックス▶実車

・R103mm▶約R15.5m	・R140mm▶約R21m
・R177mm▶約R26.6m	・R243mm▶約R36.5m
・R280mm▶約R42m	・R317mm▶約R47.6m
・R354mm▶約R53m	・R391mm▶約R58.7m
・R541mm▶約R81.2m	・R605mm▶約R90.8m

実車で急カーブリスト



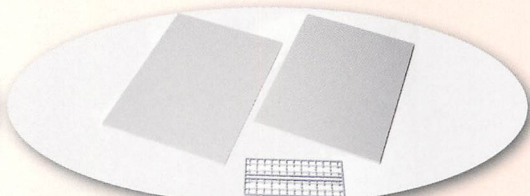
- ・豊橋鉄道:R11m
- ・都電荒川線:R18m
- ・名鉄美濃町線:R25m
- ・江ノ島電鉄:R28m
- ・箱根登山鉄道:R30m
- ・京阪京津線:R40m
- ・名鉄旧瀬戸線:R60m
- ・阪急伊丹線:R60m

日本一の急カーブであるR11mのカーブを行く豊橋鉄道市内線。まるで回転するかのようカーブを通過していきます。



ワイドラムレールでコンテナターミナルを再現

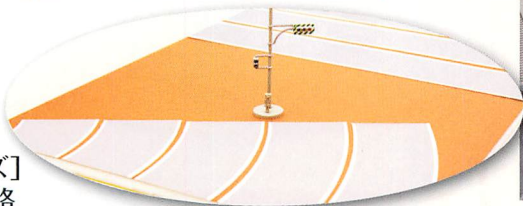
コンテナターミナルでは、フォークリフトなどで貨車からのコンテナ積み降ろしを行うため、レール以外の部分が舗装されているケースもよく見られます。ワイドラムレールを活用して、舗装されたコンテナターミナルを再現してみました。レール以外の部分はバスコレ走行システム用の道路パーツや、アスファルトを模した『ジオラマプレートB』を活用することでフラットになり、実感的に仕上がります。



[ジオコレシリーズ] バスコレ走行システム 道路パーツ各種 [ジオコレシリーズ] ジオラマプレートB

道路脇を走る軌道を楽しもう

道路の中心でなく、道路脇を走る軌道の再現にもチャレンジしましょう。ミニカーレールの脇にバスコレ走行システムの道路パーツや『ジオラマ素材 道路』を組み合わせることで簡単に再現することができます。なお、この場合、路面用パーツキットは道路側のみ取り付けます。



[ジオコレシリーズ] ジオラマ素材 道路



大型車が走る路面軌道

単行の小型電車だけでなく、一般の鉄道線と同様の大型の車両が走る路面路線も存在します。現役では、京阪電鉄京津線や熊本電鉄などがあり、以前では名鉄の車両が犬山橋を自動車と併用していたことも有名です。小さな自動車をかき分けるようにして大きな電車が走る、何とも不思議な光景を模型で再現するのも楽しみ方の1つです。



浜大津付近の併用軌道を走る京阪電鉄京津線



道路脇の併用軌道を走る熊本電鉄藤崎線

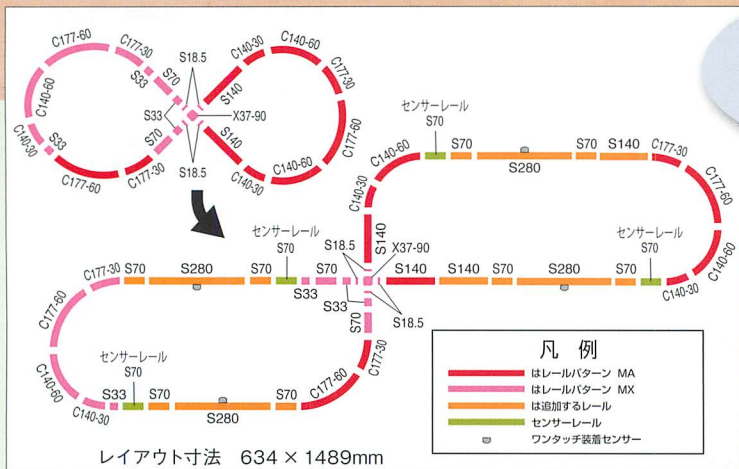
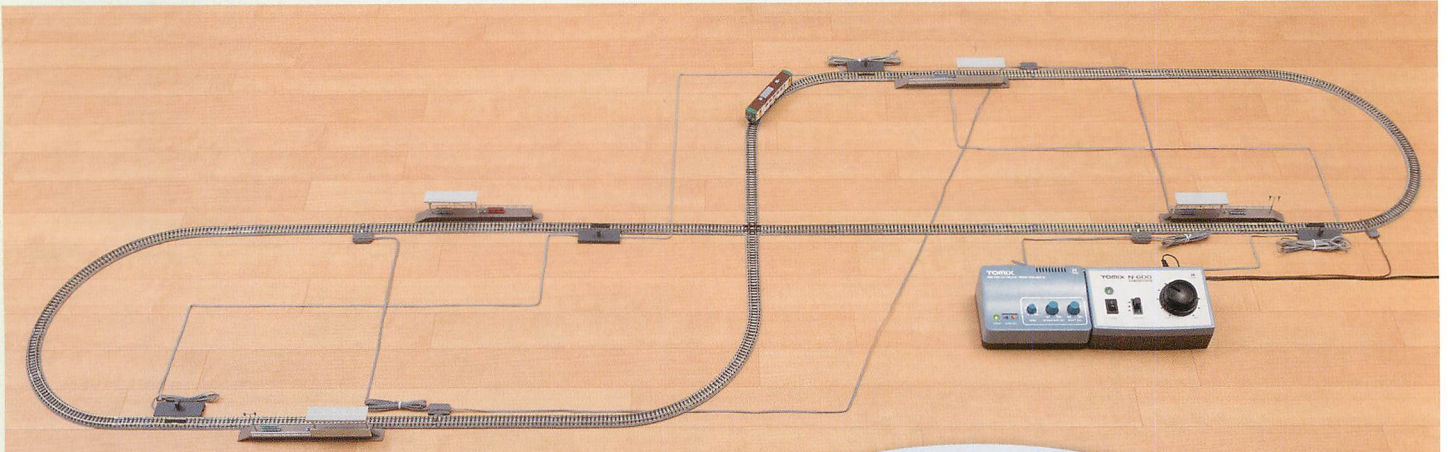
道路脇を走る軌道

路面軌道と専用軌道の間のような、道路脇を無舗装または舗装された軌道が併走する路線も見られます。江ノ電や熊本電鉄、土佐電などが代表例で、民家の軒先をかすめるようにして走るシーンも特徴的です。かつて、自動車がそれほど普及していない時代は普通に見られる光景でした。

省スペースで楽しむ自動運転

ミニカーブレイルでも自動運転を楽しむことができます。小さなスペースで列車が自動で走る姿は、見ていて楽しいものです。ここでは、設置した4つの駅に停車しながらエンドレスに走らせるプランにチャレンジしてみました。

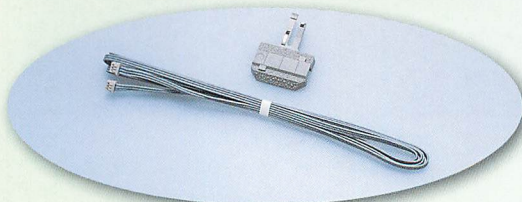
レールパターン：MA+MXをベースにアレンジ



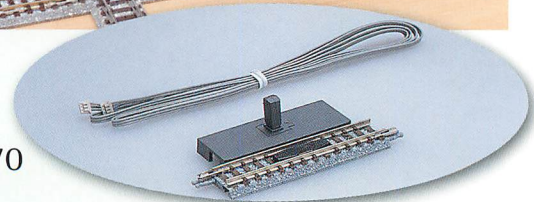
■ TCS 自動運転
ユニット N〈5563〉

自動運転のセンサーを4カ所に設置

8の字レイアウトの4カ所に駅を設置したプランです。ミニカーブレイルは、直線部が基本レールと同一のため、ワンタッチ装着センサーやセンサーレールがそのまま使用できます。



■ TCS ワンタッチ装着
センサー 〈5558〉

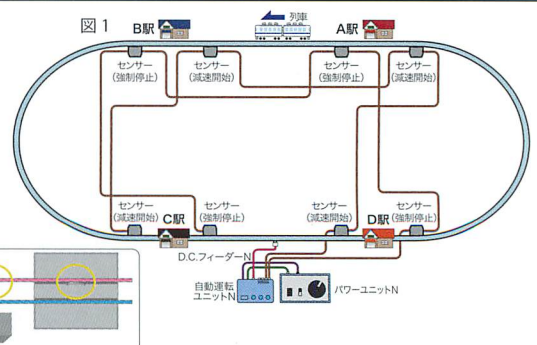
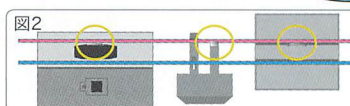


■ TCSセンサーレールS70
(F) (2本セット)〈5559〉

自動運転ユニット使用の際の注意点

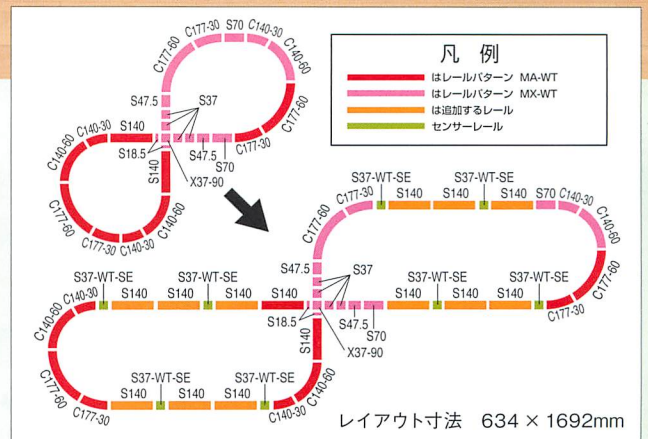
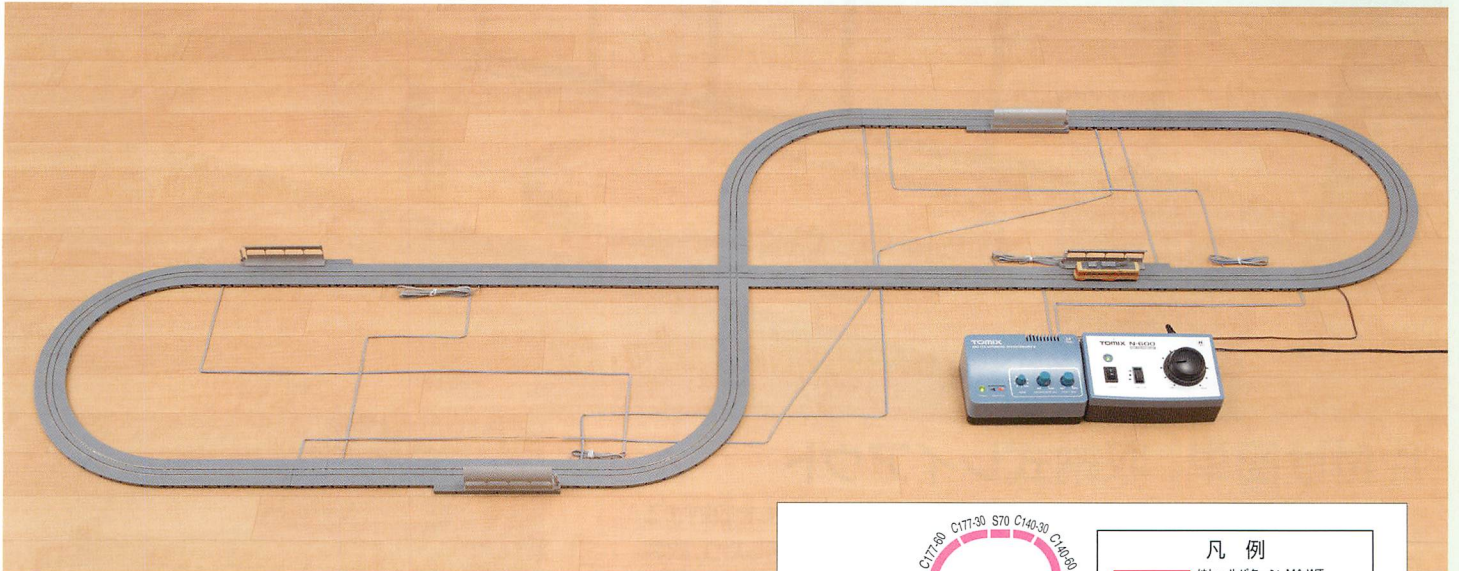
ここでは、各駅(電停)にエンドレスで停車するように「エンドレス駅停車モード」を設定しています。それぞれのセンサーを直列につなげることで、複数の駅(電停)に停車させることができます(図1)。なお、減速開始用などの接続する各センサー間隔が短過ぎるとうまく作動しません。手前のセンサーを通過して3秒以上を目安に、駅間が近くなり過ぎないように設置しましょう。

また、減速開始用のセンサーと強制停止用のセンサーはそれぞれ、直列につなぐ各センサー部が同じレール上(図2の場合では赤いレール)になるように向きを合わせる必要があります。

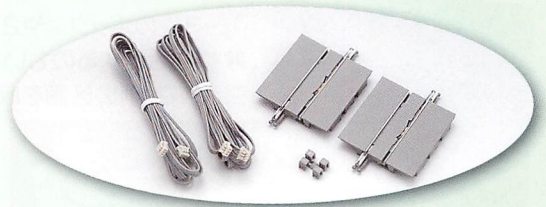


ワイドトラムレールでも自動運転に挑戦してみましょう。電停に停まりながら街中を自動で走る路面電車の姿を楽しむことができます。眺めて楽しめる、動くインテリアとしても活用できるのではないのでしょうか。

レールパターン：MA-WT+MX-WTをベースにアレンジ



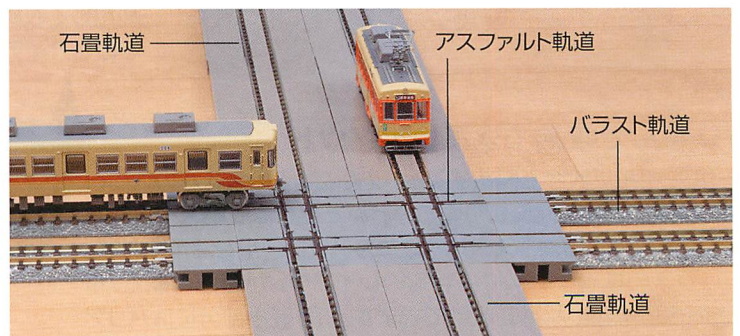
ワイドトラムレール用のセンサーレールを活用
ワイドトラムレールの場合は路面軌道専用のワイドトラムセンサーレールを使用します。ここでは、各電停に停車して一定時間経つと発車する自動運転を組み込んでみました。



■TCSワイドトラムセンサーレール
S37-WT-SE(F) (2本セット)
<5568>

石畳とアスファルトを組み合わせた十字クロスを実現

全国的にも数少ない十字クロスが残る伊予鉄道は、石畳軌道の市内線とバラスト軌道の郊外線が路面上で交差するため、クロスする部分は複雑な構造になっています。基本レールと路面用パーツキットとワイドトラムレールを使い分けることで、石畳軌道とアスファルト軌道、さらにバラスト軌道が入り交じる十字クロスを実現することができます。



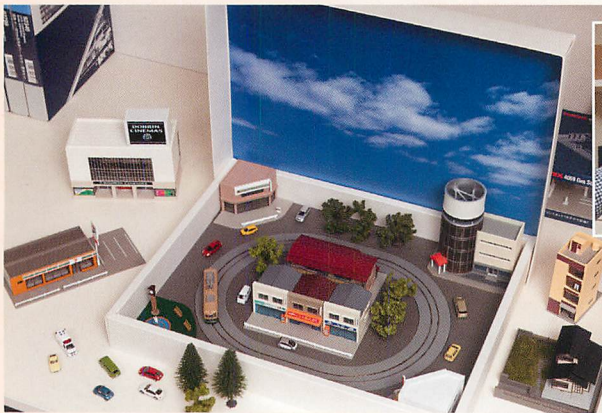
ミニカーブレールならではの楽しみ方

ミニカーブレールやスーパーミニカーブレールのコンパクトさをフルに活かせば、組み立てや保管もグンと簡単です。これまでの鉄道模型では考えられなかった場所でのディスプレイや収納などにもぜひチャレンジしてください。



片付け簡単、収納式レイアウト

コンパクトなミニカーブレールなら、分解せずに組み立てたままで収納することも可能です。箱などにレイアウトを作り付けてそのまま収納したり、衣装ケースや引き出しなどにレイアウトを直接組み込むことさえ可能です。

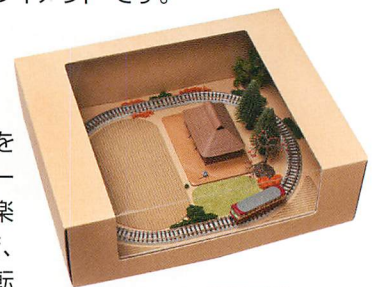


組み立て式の箱レイアウトで簡単運転

ボール紙などでできた箱をレイアウトボードとして活用した例です。フタをしてそのまま収納し、運転したいときにストラクチャーを配置して楽しむことができる“インスタントレイアウト”です。

家具などを利用して収納と運転を実現

1〜3段のボックスや2段式のワゴンを、レイアウトスペースと収納とを兼ねて活用するのもいいでしょう。最上段や1区画をレイアウトスペースとして、別の区画を収納スペースとすれば、準備や片付けが格段に楽になります。ワゴンであれば移動も可能なので、普段は邪魔にならない場所に置いておき、運転するときに好きな場所に移動して楽しむこともできます。また、右のようなパッケージや水槽を利用して収納とディスプレイを兼ねた保管をするのもアイデアの1つです。



折り畳んで収納できるレイアウト

レールを組んだ状態で固定すると、収納にはその大きさのスペースが必要になりますが、折り畳むことができれば収納スペースもコンパクトで済みます。スーパーミニカーブレールを活用すれば、トミックスの車両ケースに小判形のレイアウトが配置可能で、車両と同様に本棚に並べて収納できます。折り畳み部分にはバリアブルレールを用いて取り外し可能にするといいでしょう。



■バリアブルレール
V70(F)〈1522〉



を極める

ジオラマを楽しもう!

ミニカーブレールなら、A4サイズのスペースで90°のカーブが可能なので、自由度の高い情景ジオラマの製作が可能です。初めは走行させることは考えず、鉄道のある1シーンを再現するようつもりで製作すれば、取り組みやすくなります。



インテリアとして楽しむ

情景ジオラマなら場所を取らないので、常設しておくのもいいでしょう。棚の上やテレビ台の中などに飾っておけばインテリアとしても楽しめます。電飾を組み込めば、幻想的な夜間シーンを再現することもできます。



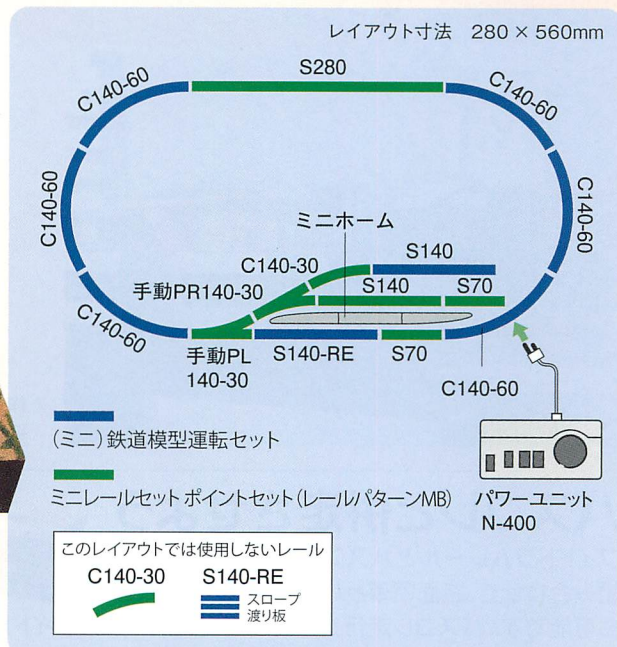
情景ジオラマを走行可能にする

ディスプレイ目的で作った情景ジオラマも、いずれ列車を走らせてみたいくなるものです。ミニカーブレールの円周に組み込めば、大したスペースを取らずに走行を楽しむことができます。情景ジオラマを組み合わせて集合式のミニジオラマを構築するのもいいでしょう。



ミニジオラマを作って楽しむ

ミニカーブレール群を使用すれば、走行が可能なジオラマもコンパクトに実現することが可能です。下のような円周レイアウトも幅60cmほどのスペースのミニジオラマで完結します。小さなスペースでも山や林、川まで再現した本格的な情景の中での周回コースで列車運転を楽しむことができます。



※作例は『キロポスト別冊レイアウトルーム総集編vol.3』に掲載されています。

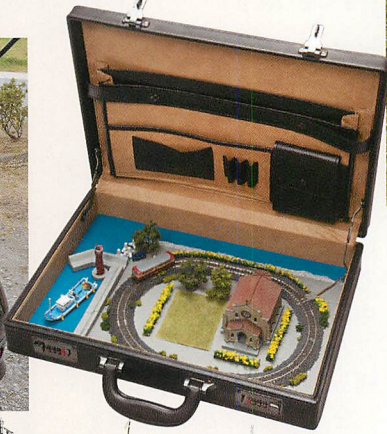
小さいから、たくさん作れて収納もラクラク

ミニジオラマなら収納の場所も取りません。テーマごとに作り分けたジオラマをラックなどに収納し、走らせたい車両や気分に合わせて好きなジオラマを選んで運転を楽しむこともできます。



ジオラマを持ち出して楽しもう!

コンパクトさを活かして、屋外へ持ち出してみるのも楽しみ方の1つです。屋外へ持ち出せば、実際の風景や自然光のもと、より本物に近い情景世界が広がります。また、友人のもとへ持ち寄るなどして多くの人と共有することも容易です。お互いに作品を見せ合ったり、ジオラマを貸し借りするなど、新しい楽しみ方も広がります。



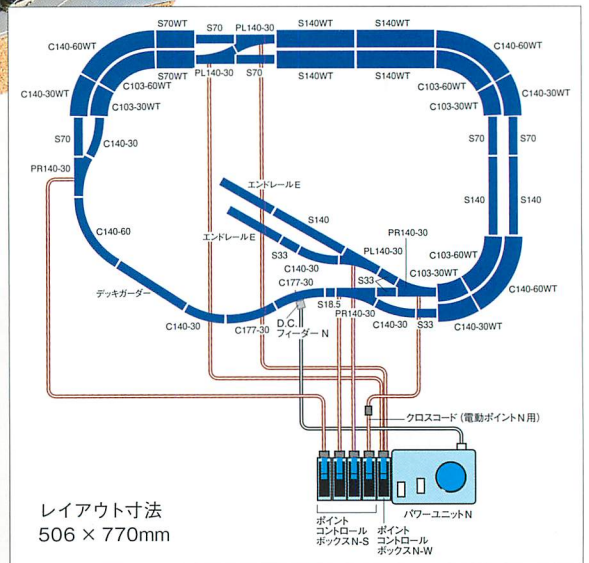
自然光のもとでは、ジオラマは自然の光を浴びてよりリアルに見えます。実際の風景を背景とすることで、屋内では味わえないリアルなシーンを楽しめます。実際の木立や町並みをバックに列車の走行シーンを撮影する、などといったことも可能になります。

大きなジオラマでミニカーブレイルを活用

本格的なジオラマ製作でもミニカーブレイル群は大きな役割を果たします。コンパクトに周回コースが組める分だけ、基本レールなどのジオラマとはひと味違ったより密度の濃いジオラマが実現可能です。登山鉄道や路面電車、地方私鉄のシーンの再現には欠かせない存在です。



※ 作例はキロポスト93-94号に掲載されたものです。



バスコレと併走させよう

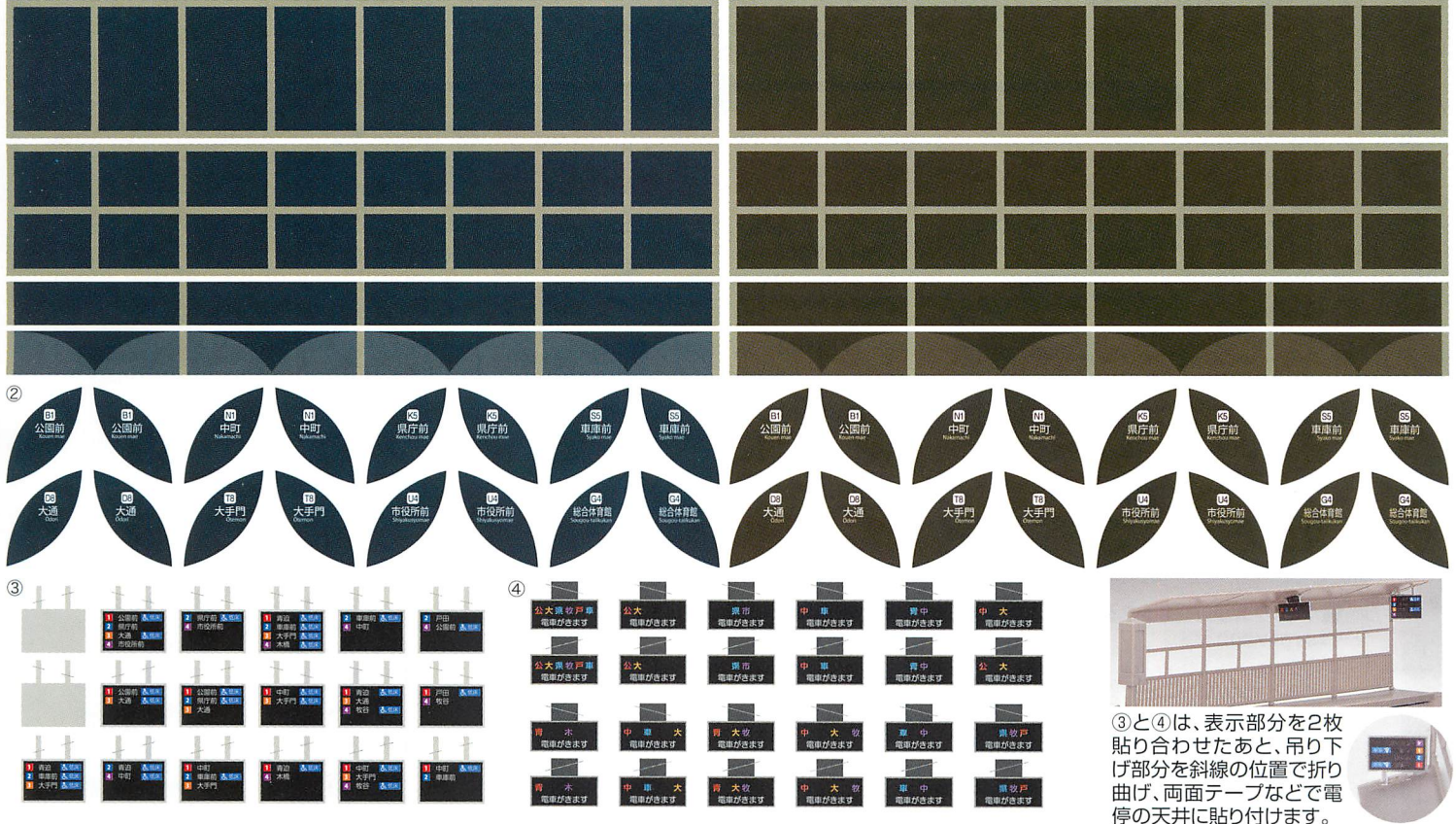
ワイドトラムレールとバスコレ走行システムを組み合わせ、路面電車とバスを併走させることも可能です。バスコレ走行システムの道路パーツはワイドトラムレールに並べて接続することができ、曲線道路の半径もワイドトラムレールの内側や外側に設置できる規格になっています。市街地で路面電車とバスがにぎやかに行き交うシーンを再現してみたいかたはどうか。バスコレの車両を走行させるには、専用動力ユニットの組み込みが必要です。対応する車種など詳しくは、製品パッケージまたはトミーテック公式サイト内のジオコレページをご覧ください。また、本書に掲載のジオコレシリーズの製品の価格など詳細についても同サイトをご覧ください。トミーテック公式サイトURL <http://www.tomytec.co.jp>



特別付録

「路面用パーツキット1・2」の電停をよりリアルにお楽しみいただけるように、ディテールアップ用の絵柄を用意しました。ご使用の際は、本ページをカラーコピーし、お好みの物をカッターで切り抜き、市販の薄手の両面テープで電停パーツに貼り付けてください。①と②は『路面用パーツキット2』用、③と④は『路面用パーツキット1』用です。

※刃物などの工具をご使用になる際は、ケガなどのないよう十分にご注意ください。



③と④は、表示部分を2枚貼り合わせたあと、吊り下げ部分を斜線の位置で折り曲げ、両面テープなどで電停の天井に貼り付けます。

この本に出てくるトミックス製品の品番・価格の一覧

本書で取り上げた製品に関しては、こちらをご参照ください。また、ここでは紹介しきれない関連製品に関してやさらに詳しい情報、車両ラインナップなどは、別売のトミックス総合ガイドに詳しく掲載しておりますので、ご一読をおすすめいたします。

ベーシックセットシリーズ 90156 ベーシックセットSD E259系成田エクスプレス(レールパターンA) ¥16,000 90158 ベーシックセットSD 500系のぞみ(レールパターンA) ¥16,000 90159 ベーシックセットSD ブルートレーン(レールパターンA) ¥15,000 90160 ベーシックセットSD ドクターイエロー(レールパターンA) ¥16,000 90161 ベーシックセットSD E231系山手線(レールパターンA) ¥15,000 90162 ベーシックセットSD トワイライトエクスプレス(レールパターンA) ¥15,000 90163 ベーシックセットSD E5系はやぶさ(レールパターンA) ¥16,800 90164 ベーシックセットSD N700-1000系(N700A)のぞみ(レールパターンA) ¥17,800 90165 ベーシックセットSD E233系京浜東北線(レールパターンA) ¥15,000 90166 ベーシックセットSD 287系くろしお(レールパターンA) ¥16,000	90094 ワイドラム鉄道模型運転セット2 ¥6,300 91085 ワイドラムスーパーミニレールセット エンドレスセット(レールパターンSA-WT) ¥2,400 91086 ワイドラムミニレールセット 基本セット(レールパターンMA-WT) ¥2,700 91088 ワイドラムミニレールセット 十字クロスセット(レールパターンMX-WT) ¥2,700 0113 ワイドラムレール・道路共通ジョイント(32個入) ¥600 基本レール 1021 ストレートレールS140(F) (2本セット) ¥320 1022 ストレートレールS280(F) (2本セット) ¥400 1023 ストレートレールS72.5(F) (2本セット) ¥280 1024 ストレートレールS70(F) (2本セット) ¥280 1124 カーブレールC280-15(F) (2本セット) ¥360 ポイントN・特殊レール 1240 電動Y字ポイントN-PY280-15(F) ¥2,400 1271 電動ポイントN-PR541-15(F) (完全選択式) ¥2,300 1272 電動ポイントN-PL541-15(F) (完全選択式) ¥2,300 1324 クロスシグナルX37-90(F) (補助レール付) ¥1,500 1421 エンドレールE(F) ¥300 1521 解放ランプ付レールM70(F) ¥380 1522 バリアブルレールV70(F) ¥700 1523 リレールレールS140-RE(F) ¥420 鉄橋・橋脚・高架ビーム 3017 PC水平橋脚 (5本セット) ¥600 3028 デッキガーダー橋脚 (赤) (れんが橋脚・2本付) ¥700 3031 単線トラス鉄橋セット(F) (赤) (れんが橋脚・2本付) ¥1,100 3041 複線高架橋脚 (4個入) ¥800 3044 複線高架橋脚セット (10個1組) ¥2,000 3047 複線高架橋脚 (小型・4個入) ¥800 0116 ワイドレールスラブレール用フックアップリング (16個入) ¥500 0117 ワイドレール用カブ用カップリング (16個入) ¥500 ワイドPCLレール 3080 ワイドレール用S140(3種×8枚入) ¥680 3083 ワイドレール用C354内・C317外 (3種×8枚入) ¥680 3085 ワイドレール用C428内・C391外 (3種×8枚入) ¥720 架線柱 3003 単線架線柱・近代型 (12本セット) ¥400 3004 複線架線柱・近代型 (6本セット) ¥400 制御機器 5507 TCS/VアユニットN-600 ¥5,800 5531 ポイントコントロールボックスN-S ¥800 5532 ポイントコントロールボックスN-W ¥1,200 5534 D.C.ファンダーN ¥500 5538 ワイドレールスラブレール用C.F.ファンダーN ¥500	5558 TCSワンタッチ装置センサー ¥1,300 5559 TCSセンサーレールS70(F) (2本セット) ¥3,600 5563 TCS自動運転ユニットN ¥9,800 5565 TCS2打式信号機(F) ¥3,800 5568 TCSワイドラムセンサーレールS37-WT-SE(F) (2本セット) ¥3,200 建物 駅・ホーム 4009 島式ホームセット (近代型) ¥1,600 4057 島式ホームセット (ローカル型) ¥2,000 4060 ミニホームセット ¥1,400 4067 島式ホームセット (近代型) 大型車両用 ¥1,600 一般建物 4006 わらぶき農家 ¥900 4008 商店セット ¥900 4013 近郊住宅 ¥1,000 4015 角店セット ¥1,100 4018 総合ビル ¥2,200 4020 中型ビル ¥1,300 4026 アパート ¥1,400 4027 郊外型レストラン (和風) ¥1,700 4034 マンション ¥2,000 4038 ハチンコ店 ¥2,300 4042 商業ビルA ¥800 4043 商業ビルB ¥1,000 4044 商業ビルC ¥1,000 4045 大型ビル (ダークグレー) ¥2,400 4051 スクエアビルセット (ブラウン) ¥1,800 4062 コンビニエンスストア (セブンイレブン) 2 ¥1,600 4104 複線高架橋脚ガード下建物セットB ¥1,500 鉄道施設 4012 複線機関庫 ¥1,000 アクセサリー 3113 198形コンテナ (3個入) ¥600 3126 199形コンテナ (3個入・ロコ付) ¥700 3140 19D形コンテナ (鉄道コンテナ輸送50年記念カラー) (3個入) ¥700 レイアウト用品 8013 コンビニーションボードA ¥1,500 8171 針葉樹 (4本セット) ¥800 8172 雑木 (4本セット) ¥800 8174 広葉樹 (春・5本セット) ¥900 8175 広葉樹 (夏・5本セット) ¥900 0120 レイアウトボード用C.F.木脚 (4個入) ¥200
---	---	--

※価格は、すべて税抜表示となっています。 ※掲載している製品は常に在庫されているとは限りませんので、ご了承ください。 ※掲載している製品の仕様・価格は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

トミックス鉄道模型ライフを楽しもう

トミックスでは鉄道模型ライフをよりお楽しみいただくため、各種印刷物を揃えています。用途に合わせてお選びください。

START

●トミックスのレールシステムを知りたいビギナーの方へ

■トミックス鉄道模型システムガイド(基礎編) (パワーユニットN-600対応版)

〈7311〉¥300(税抜)

トミックスのレールシステムをわかりやすく解説したビギナー向けのガイドブックです。フロアレイアウトの楽しみ方を追求し、『ベーシックセットSD』シリーズを基本に、各レールセットに加えて、建物やアクセサリなども使用したさまざまなレールの発展パターンを紹介しています。



●省スペースで鉄道模型を楽しみたいビギナーの方へ

■トミックス鉄道模型システムガイド(ミニカーブレード編1)

〈7312〉¥300(税抜)

限られたスペースでも鉄道模型運転を楽しめる、ミニカーブレードやスーパーミニカーブレード、ワイドトラムレールの取り扱い方からレールの発展パターンまでを掲載したガイドブックです。関連製品の『ミニホームセット』や『路面用パーツキット』の使用例も紹介しています。



●トミックス車両のことも基礎から知りたいビギナーの方へ

■トミックス鉄道模型システムガイド(車両編)

〈7314〉¥300(税抜)

車両の構造から編成の延ばし方、最低限の加工、手入れ方法までわかりやすく紹介しています。これから車両を増やしていこうとお考えの方などにおすすめです。また、室内照明ユニットやTNカプラーなどオプションパーツの取り付け方やメンテナンス方法も紹介しています。



●さらに発展させたレールプランを楽しみたい方へ

■トミックス鉄道模型システムガイド(発展編)

〈7313〉¥300(税抜)

トミックスのレールシステムによる「複線と立体交差でロングラン」をテーマにしたガイドブックです。ダブルクロスポイントによる両渡り線や、高架橋付レール、複線レールを使用したさまざまなレイアウトを紹介しています。



●省スペースでさらに発展させた鉄道模型を楽しみたい方へ

■トミックス鉄道模型システムガイド(ミニカーブレード編2)

〈7316〉¥300(税抜)

『ミニカーブレード編1』からさらに発展させたレールレイアウトと、コンパクトさを活かしたさまざまな楽しみ方を紹介しています。また、半径が小さい特性を省スペース以外へ展開する活用法なども紹介しています。



本書はこちらです

トミックスを知るための情報誌もラインナップ!

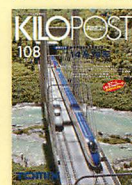
■トミックス総合ガイド (2013-2014年版)

〈7035〉¥1,800(税抜)



■キロポスト (隔月発行)

各¥300~(税抜)



※諸事情により、発行時期を変更する場合がございます。

●オリジナルのレイアウトプラン作りに挑戦したい方へ

■トミックス鉄道模型システムガイド(応用編)

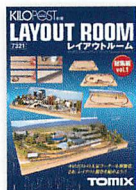
〈7315〉¥500(税抜)

自分でオリジナルプランを作れるようになることを目標に、レールの規格をわかりやすく解説しています。規格を理解したら、既存のレールパターンにアレンジを加えることにチャレンジ。さらに完全なオリジナルプランを作る場合をシミュレーションで紹介しています。



●レイアウト製作にチャレンジしたい方へ

『キロポスト』に連載された「レイアウトルーム」の総集編です。vol.1ではレイアウト製作のアイデアと技法を、vol.2では「駅」をテーマとして大小の駅と駅前風景のアイデアと技法を、vol.3では「起伏に富んだレイアウト」をテーマに分割レイアウトの製作方法などを紹介しています。



■キロポスト別冊 レイアウトルーム総集編 vol.1

〈7321〉¥700(税抜)

■キロポスト別冊 レイアウトルーム総集編 vol.2

〈7322〉¥700(税抜)

■キロポスト別冊 レイアウトルーム総集編 vol.3

〈7323〉¥1,000(税抜)

TOMYTEC パーツ通販サイト

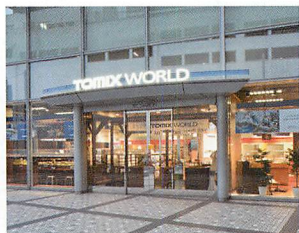
インターネットやケータイからトミックスのパーツなどが手軽にお求めいただけます!!

TEC STATION

<http://www.tec-station.jp>

※パッケージ料金・送料が別途かかります。

TOMIX WORLD TEC STATION — OMIYA —



トミックスの常設ショールーム「トミックスワールド」

トミックス車両、大型ジオラマの展示のほか、製品やグッズの販売、ホビールームや相談コーナーも設けています。



住所: 〒330-0854
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-9-6
大宮センタービル1F
営業時間: 平日 12:00~20:00
土・日・祝日 11:00~19:00
定休日: 火曜日(但し、祝日の場合は営業)
TEL.048-644-1039
URL:<http://www.tomixworld.jp/>

最新情報をインターネットでご覧いただけます!

<http://www.tomytec.co.jp/tomix/>

※本文中の写真は、印刷のインク等によって実際の色と異なる場合があります。
※本文中の写真には一部、旧製品並びに試作品が含まれています。
※無断転載・複製を禁じます。
※価格は、すべて税抜表示となっています。

〈7316〉トミックス鉄道模型システムガイド(ミニカーブレード編2) 2014.5

TOMYTEC 発売元
株式会社トミーテック

〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
トミーテックお客様相談室 トミックス係 TEL 03(3695)3161(代)
電話受付 月~金曜日(祝・祭・休日を除く) 10~17時



4 543736 073161

¥300(税抜)